10/252361

IAP2C dec'd PCT/PTQ 14 JUN 2006

WO 2005/058963

PCT/JP2004/003046

明細書

抗 HIV 抗体

技術分野

5 本発明は、HIVの外皮膜に存在し分子量約 120kD を有する糖タンパク質 gp120 に高親和性に結合する抗体及びその産生細胞に関する。また、本発明は、上記抗 体を含有する医薬組成物に関する。

背景技術

10 後天性免疫不全症候群(AIDS)は、HIV(Human Immunodeficiency Virus)の感染後、徐々に感染者の免疫能が低下して合併症を起こすようになった状態を意味する。

HIV は宿主の体内に侵入すると、CD4 陽性細胞、特に CD4+T リンパ球(ヘルパーT細胞)に感染する。CD4 陽性細胞への感染に関与するタンパク質は、HIV の外被糖タンパク質 gp120 である。gp120 は、HIV の外皮膜に存在し、分子量約120 キロダルトン(kD)を有する糖タンパク質であり、細胞表面の CD4 を特異的受容体として結合する。そして、HIV は CD4+リンパ球に感染後、細胞内に侵入し、脱外被を起こして核酸(RNA)を遊離する。その後、逆転写酵素による DNA合成、転写、翻訳がなされ、ウイルスタンパク質が合成される。ウイルスタンパク質は細胞膜に移動してウイルス粒子となり放出される。

HIV は抗原変異が激しいため、ワクチンを作製することが困難であり、現在有効なワクチンは開発されていない。また、HIV 遺伝子は感染細胞内の染色体に組み込まれるため、感染した HIV を完全に取り除くという根本的治療は極めて困難である。

25 現在、AIDS の発病を遅らせ、延命効果が認められる薬剤として AZT (アジトチミジン) などがあり、有効性が期待できる治療薬も次々と開発されつつある。 しかしながら、まだ決定的な治療薬は確立していない。

一方、HIV を効果的に中和する能力を持ち、AIDS の予防や診断に役立つ抗体を得るために種々の試みがなされている。gp120 は HIV の感染にとって最も重要な分子の一つであるため(McDougal et al., Science, 231,382-385 (1986))、HIV の感染の効果的な抑制、感染予防及び診断には、gp120 を標的とすることができる。これまでに、HIV の gp120 の前駆体である gp160 のアミノ酸配列のうち、第 308-331 番目以内にある一つのエピトープを認識する「 0.5β 」と呼ばれる抗体が作製されている(特許第 2797099 号公報)。しかし、抗原との結合力をさらに高めるには、HIV の gp120 と反応して、効果的にウイルスを中和することができる高親和性抗体を開発することが必要である。

10

発明の開示

本発明は、HIV を中和する能力を有する高親和性抗体、及び該抗体を含む医薬組成物を提供することを目的とする。また、後天性免疫不全症候群の治療に用いられる医薬組成物を提供することを目的とする。

15 本発明者は、上記課題を解決するために誠意研究を行った結果、GANP トランスジェニック非ヒト哺乳動物を用いて gp120 により免疫すると、HIV の活性を中和し、かつ HIV と高親和性に結合する抗体を産生することを見出し、本発明を完成するに至った。

すなわち、本発明は以下の通りである。

20 (1) HIV の gp120 糖タンパク質と結合し、かつ、解離定数が KD=1.0×10⁻⁹(M)以 下の抗体又はその断片。

上記抗体又はその断片は、gp120糖タンパク質のうち第308-330番目のアミノ酸配列(例えば配列番号6に示されるもの)の少なくとも一部を認識することができる。

25 本発明の抗体又はその断片は、非ヒト哺乳動物からの血清から採取する抗体、 ポリクローナル抗体であってもモノクローナル抗体であってもよい。

本発明の抗体又はその断片は、例えば受託番号が FERM BP・08644 であるハイ

ブリドーマ細胞〔表示名:「Anti-NL43mono. Clone No.G2-25 ハイブリドーマ細胞」、寄託先:独立行政法人産業技術総合研究所 特許生物寄託センター(日本国茨城県つくば市東1丁目1番地1 中央第6(郵便番号305-8566))、寄託日:2004年2月25日〕により産生される。

- 5 (2) 上記抗体又はその断片のV領域を含む、ヒト型化抗体若しくはヒト抗体又は それらの断片。
 - (3) 配列番号 6 に示すアミノ酸配列のうち少なくとも一部を含むポリペプチドを抗原として免疫した GANP トランスジェニック非ヒト哺乳動物又はその子孫から採取される、高親和性抗体産生細胞。
- 10 また本発明は、受託番号が FERM BP-08644 である、HIV の gp 120 糖タンパ ク質に対するモノクローナル抗体産生細胞を提供する。
- (4) GANP トランスジェニック非ヒト動物又はその子孫を、配列番号6に示すアミノ酸配列のうち少なくとも一部を含むポリペプチドを抗原として免疫し、得られる動物又は子孫から抗体を採取することを特徴とする、抗 HIV 抗体又はその断15 片の製造方法。
 - (5) 上記(3)記載の高親和性抗体産生細胞とミエローマ細胞との融合細胞、又は受託番号が FERM BP-08644 で表されるモノクローナル抗体産生細胞を培養し、得られる培養物から抗体を採取することを特徴とする、抗 HIV 抗体又はその断片の製造方法。
- 20 (6) 上記(1)記載の抗体又はその断片、及び上記(2)記載のヒト型化抗体若しくはヒト抗体又はそれらの断片からなる群から選択される少なくとも1つを含有する医薬組成物。

本発明の医薬組成物は、後天性免疫不全症候群の治療薬として使用することが可能である。

25 (7) 上記(1)記載の抗体若しくはその断片、又は上記(2)記載のヒト型化抗体若しくはとうになるの断片と、HIVのgp120糖タンパク質とを反応させることを特徴とする HIV の検出方法。

(8) 上記(1)記載の抗体又はその断片、及び上記(2)記載のヒト型化抗体若しくはヒト抗体又はそれらの断片からなる群から選択される少なくとも1つを含有する HIV 検出用キット。

5 図面の簡単な説明

図1は、B細胞における GANP の発現の増加を示す図である。

図2は、ELISA を用いて各抗体による gp120(308-330)ペプチドを検出した結果を示す図である。

図3は、各クローンの解離定数を測定した結果を示す図である。

10 図 4 は、各抗 HIV モノクローナル抗体のエンベロープに対する結合能を評価した結果を示す図である。

図5は、各抗 HIV モノクローナル抗体のエンベロープに対する結合能を評価した結果を示す図である。

図6は、各抗 HIV モノクローナル抗体の中和活性試験結果を示す図である。

15 図7は、各抗 HIV モノクローナル抗体の中和活性試験結果を示す図である。

発明を実施するための最良の形態

1. 概要

本発明の抗体は、GANPトランスジェニック哺乳動物に、HIVのgp120の一部、特にgp120のアミノ酸配列のうち第308·330のアミノ酸配列からなるペプチドを抗原として免疫することにより得られたものである。gp120のアミノ酸配列のうち第308·330番目の配列(「gp120(308·330)」という)を認識する抗体は、ウイルス中和活性、及び感染細胞による合胞体形成抑制活性を有することが知られているが(Skinner MA. et al., AIDS Res. Hum. Retroviruses (1988), 4(3), 187·197)、本発明の抗体は、gp120(308·330)と高親和性に結合することを特徴とするものである。

ここで、GANP とは、胚中心結合核タンパク質(Germinal center associated

nuclear protein)と呼ばれている核タンパク質である。GANP は、遺伝子に変異を誘導するプロセスにおいて直接的及び間接的に必要な分子である。また、GANP は、遺伝子変異を修復する際に、高親和性の抗体が得られるように V 領域の変異の誘導を促す能力を保有していることから、GANP をコードする遺伝子を導入したトランスジェニック非ヒト哺乳動物(「GANPトランスジェニック非ヒト哺乳動物(「GANPトランスジェニック非ヒト哺乳動物」という)は、この GANP 遺伝子の導入によって、獲得性免疫の高親和性抗体産生を促進することができる。また、この GANPトランスジェニック非ヒト哺乳動物は、速やかに抗原に対する結合力の高い抗体を産生することができる。従って、上記トランスジェニック非ヒト哺乳動物を、HIVの gp120のアミノ酸配列のペプチド(例えば gp120(308-330))を抗原に用いて免疫することで、従来は得られないような高親和性の抗体を簡便に得ることができる。

上述の通り、本発明により、HIV 中和活性、感染細胞の合胞体形成抑制作用を有し、従来は得られないような高親和性の抗 HIV 抗体を得ることができる。そして、得られた抗体を含む医薬組成物は、AIDS の治療に用いることができる。

15 上記抗体を産生する細胞は、gp120で免疫した GANP トランスジェニック非ヒト哺乳動物から得られた脾臓 B 細胞又はリンパ節細胞単独でもよく、B 細胞又はリンパ細胞とミエローマ細胞とを融合させたハイブリドーマ細胞でもよい。本発明は、上記抗体を産生する細胞についても提供する。

さらに、HIV 感染を確認する臨床検査においては、HIV を高感度に検出するこ20 とが重要である。その検出手段として、本発明の高親和性抗 HIV 抗体を用いることができる。従って、本発明は、抗 HIV 抗体を含む HIV 検出キットを提供するものである。

2. 抗原の調製

25 HIV の gp120 はデータベース等から配列情報を得ることが可能であり(PRF 1102247A, http://www.genome.ad.jp/dbget-bin/www_bget?prf:1102247A)、そのアミノ酸配列は配列番号 5 に示されるものである。

そして、gp120(308·330)のポリペプチド配列は、

10

15

NNTRKSIRIQRGPGRAFVTIGKI (配列番号6)

で表される 23 アミノ酸残基であり(Lee Ratner et al., Nature 313, 277-284, 1985)、このアミノ酸配列のうちの少なくとも一部(全部又は一部)を含むポリ ペプチド又はペプチド(単にペプチドともいう)抗原として使用することができる。

ここで、抗原に用いる上記配列番号 6 で示されるペプチド配列の「アミノ酸配列の少なくとも一部」とは、長さに特に限定されるものではない。例えば 23 アミノ酸残基のうち連続する 8 アミノ酸残基以上、例えば 8、10、12、16、20、23 アミノ酸残基が挙げられる。また、選択する場所は、配列番号 6 の中の連続したアミノ酸であれば特に限定されず、任意の場所を選択することができる。例えば、7~8 アミノ酸残基を抗原に用いる場合には、配列番号 6 で示される 23 残基のアミノ酸配列を、N末端から順に 7~8 アミノ酸ずつ 3 つの領域に渡ってアミノ酸配列を選択してもよく、N末端から1 アミノ酸ずつ C末端側にずらした領域の配列を選択してもよく、N末端から1 アミノ酸ずつ C末端側にずらした領域の配列を選択してもよい。

抗原には、配列番号6及び上記のアミノ酸配列の少なくとも一部を、単独又は 混合して用いることができる。

また、上記ペプチドをキャリアタンパク質と結合させ、該ペプチドを側鎖とし

て多数持つように抗原を作製してもよい。この場合は、上記ペプチドのN末端に、 20 キャリアタンパク質を結合させるためのシステイン残基を付加することができる。 ペプチドの作製方法は、化学合成でも、大腸菌などを用いる生化学的合成でも よく、これらは当業者に周知の方法を用いることができる。

本発明のペプチドの化学合成を行う場合は、ペプチドの合成の周知方法によって合成することができる。例えば、アジド法、酸クロライド法、酸無水物法、混合酸無水物法、DCC 法、活性エステル法、カルボイミダゾール法、酸化還元法等が挙げられる。また、その合成は、固相合成法及び液相合成法のいずれをも適用することができる。市販のペプチド合成装置(島津製作所製 PSSM-8 など)を

使用してもよい。

20

反応後は、溶媒抽出、蒸留、カラムクロマトグラフィー、液体クロマトグラフィー、再結晶などの通常の精製法を組み合わせて本発明のペプチドを精製することができる。

本発明のペプチドの生化学的合成を行う場合は、まず、該ペプチドをコードする DNA を設計し合成する。そして、上記 DNA を適当なベクターに連結することによってタンパク質発現用組換えベクターを得、該組換えベクターを目的遺伝子が発現し得るように宿主中に導入することによって形質転換体を得ることができる (Sambrook J and Russel D. Molecular Cloning, A Laboratory Manual, 3rd edition, CSHL Press, 2001)。

ベクターには、宿主微生物で自律的に増殖し得るファージ又はプラスミドが使用される。プラスミド DNA としては、大腸菌、枯草菌又は酵母由来のプラスミドなどが挙げられ、ファージ DNA としては入ファージが挙げられる。さらに、動物ウイルス、昆虫ウイルスベクターを用いることもできる。

15 組換えベクターの作製は、精製された DNA を適当な制限酵素で切断し、適当なベクター DNA の制限酵素部位等に挿入してベクターに連結すればよい。

形質転換に使用する宿主としては、目的の遺伝子を発現できるものであれば特に限定されるものではない。例えば、細菌(大腸菌、枯草菌等)、酵母、動物細胞(COS細胞、CHO細胞等)、昆虫細胞又は昆虫が挙げられる。ヤギ等の哺乳動物を宿主として使用することも可能である。

宿主への組換えベクターの導入方法は公知であり、任意の方法(例えばカルシウムイオンを用いる方法、エレクトロポレーション法、スフェロプラスト法、酢酸リチウム法、リン酸カルシウム法、リポフェクション法等)が挙げられる。

本発明において、本発明のペプチドは、前記形質転換体を培養し、その培養物 から採取することにより得ることができる。「培養物」とは、(a)培養上清、(b) 培養細胞若しくは培養菌体又はその破砕物のいずれをも意味するものである。

培養法は、当分野において周知である(前記 Sambrook ら、Molecular Cloning

を参照)。

培養後、目的ペプチドが菌体内又は細胞内に生産される場合には、菌体又は細胞を破砕することによりペプチドを抽出する。また、目的ペプチドが菌体外又は細胞外に生産される場合には、培養液をそのまま使用するか、遠心分離等により菌体又は細胞を除去する。その後、ペプチドの単離精製に用いられる一般的な生化学的方法、例えば硫酸アンモニウム沈殿、ゲル濾過、イオン交換クロマトグラフィー、アフィニティークロマトグラフィー等を単独で又は適宜組み合わせて用いることにより、目的のペプチドを単離精製することができる。

本発明においては、in vitro 翻訳によるペプチド合成を採用することもできる。

この場合は、RNA を鋳型にする方法と DNA を鋳型にする方法(転写/翻訳)の
2 通りの方法を用いることができる。例えば、鋳型 DNA としては、翻訳開始点の上流にプロモーターとリボゾーム結合部位を有している該ペプチドをコードする DNA、あるいは翻訳開始点の上流に転写に必要なプロモーター等が組み込まれた DNA が挙げられる。in vitro 翻訳システムは、市販のシステム、例えば ExpresswayTMシステム(Invitrogen 社)、PURESYSTEM(登録商標;ポストゲノム研究所)、TNT システム(登録商標;Promega 社)などを用いることができる。in vitro 翻訳システムによるペプチド合成後は、上記の一般的な生化学的方法を単独又は組み合わせることにより、目的のペプチドを単離精製することができる。

上記のように得られたペプチドに結合させるキャリアタンパク質としては、牛血清アルブミン(BSA)、keyhole limpet hemocyanin(KLH)、human thyroglobulin, ニワトリガンマグロブリンを挙げることができる。

3. GANP

GANP は、酵母 Sac3 タンパク質とホモロジーを有する 210kD の核タンパク質である (WO00/50611号公報)。そして、SAC3 はアクチン形成の抑制物質として特徴づけられている。また、GANP は、濾胞樹状細胞(follicular dendritic cells:

FDC)により囲まれる胚中心(germinal center, GC)B 細胞において選択的にアップレギュレートされ、リン酸化依存性 RNA プライマーゼ活性を有し、B 細胞の細胞周期調節に関与しているタンパク 質である (Kuwahara, K. et al., (2000) Blood 95, 2321-2328)。

- 本発明においては、GANP タンパク質のアミノ酸配列を、マウスについて配列番号 2 に、ヒトについて配列番号 4 に示す。また、GANP タンパク質をコードする遺伝子(GANP 遺伝子という)の塩基配列を、マウスについて配列番号 1 に、ヒトについて配列番号 3 に示す。なお、上記アミノ酸配列及び塩基配列は、国際公開 WO00/50611 号公報にも記載されている。
- 10 また GANP タンパク質は変異体でもよく、配列番号 2 又は 4 に記載のアミノ酸配列において 1 又は複数のアミノ酸が欠失、置換又は付加されたアミノ酸配列であって RNA プライマーゼ活性を有するタンパク質であってもよい。例えば、配列番号 2 又は 4 に示すアミノ酸配列のうち 1 若しくは複数個 (好ましくは 1 個又は数個 (例えば 1 個~10 個、さらに好ましくは 1 個~5 個))のアミノ酸が欠 5 失しており、1 若しくは複数個 (好ましくは 1 個又は数個 (例えば 1 個~10 個、さらに好ましくは 1 個~5 個))のアミノ酸が他のアミノ酸で置換されており、及び/又は 1 若しくは複数個 (好ましくは 1 個又は数個 (例えば 1 個~10 個、さらに好ましくは 1 個~5 個))の他のアミノ酸が付加されたアミノ酸配列からなり、かつ上記 GANP タンパク質と同様の RNA プライマーゼ活性を有する GANP 変異型タンパク質を使用することもできる。

「RNA プライマーゼ活性」とは、RNA 複製において、 $5'\rightarrow 3'$ 方向に進む鎖の伸長とは逆向きの鎖(ラギング鎖)を合成する際に、伸長の開始点となる短いプライマーの RNA を合成する酵素活性を意味する。通常は α プライマーゼと呼ばれる DNA ポリメラーゼ α と結合する分子が用いられるが、胚中心 B 細胞では第二のプライマーゼである GANP プライマーゼも誘導されている。

GANP タンパク質は、上記配列番号2若しくは4に示すアミノ酸配列又はこれらの変異型アミノ酸配列のほか、N末端側の一部の配列(例えば配列番号2に示

すアミノ酸配列の 1~600 番、好ましくは 139~566 番) 又はこれらの変異型ア ミノ酸配列を有するものも含まれる。

本発明において、動物に導入するための GANP 遺伝子は、上記 GANP タンパク質、N末側の一部の配列、又は変異型タンパク質をコードする遺伝子が挙げられる。そのような遺伝子として、例えば配列番号 1 又は 3 に示す塩基配列を有するものを使用することができる。配列番号 1 又は 3 に示す塩基配列のうち、コード領域のみの塩基配列であってもよい。また、上記配列番号 1 又は 3 に示す塩基配列に相補的な配列と、ストリンジェントな条件下でハイブリダイズし、かつ、RNA プライマーゼ活性を有するタンパク質をコードする遺伝子を使用することも可能である。

「ストリンジェントな条件」とは、ハイブリダイズさせた後の洗浄時の条件であって塩(ナトリウム)濃度が 150~900mM であり、温度が 55~75℃、好ましくは塩(ナトリウム) 濃度が 250~450 mM であり、温度が 68℃での条件をいう。

10

遺伝子に変異を導入するには、Kunkel 法や Gapped duplex 法等の公知手法により、例えば部位特異的突然変異誘発法を利用した変異導入用キット、例えばGeneTailorTM Site-Directed Mutagenesis System(インビトロジェン社製)、TaKaRa Site-Directed Mutagenesis System(Mutan·K、Mutan·Super Express Km等:タカラバイオ社製)を用いて行うことができる。

変異遺伝子の詳細並びに取得方法は国際公開 WO00/50611 号公報にも記載さ 20 れている。

なお、抗μ抗体及び抗 CD-40 モノクローナル抗体で B 細胞を in vitro 刺激すると、GANP 発現のアップレギュレーションのみならず、GANP タンパク質のアミノ酸配列のうち特定のセリン残基 (例えば 502 番目のセリン: S502) のリン酸化を引き起こす。この反応は、GANP の RNA プライマーゼ活性についてキーとなる反応である(Kuwahara, K. et al. (2001) Proc. Natl. Acad. Sci. USA, 98, 10279·10283)。GANP タンパク質の N 末端側の RNA プライマーゼドメインはセリン残基を含んでおり、そのリン酸化は in vitro において Cdk2 によって触媒さ

れる。C 末端側ドメインにより、GANP は MCM3 複製ライセンシング因子に結合する(Kuwahara, K. et al., (2000) Blood 95, 2321·2328; Abe, E. et al. (2000) Gene 255, 219-227)。

なお、GANP 遺伝子欠損マウスは胎生致死であるが、CD19・Cre マウスと flox-ganp 遺伝子のマウスを交配して作製した B 細胞に選択的に GANP 遺伝子を 欠損した conditional targeting マウスを作製して、T 細胞依存性抗原である nitrophenyl (NP)・ニワトリガンマグロブリン抗原で免疫して NPーハプテン特異 的な抗体産生を調べたところ、高親和性抗体産生が著しく障害されており、GANP 分子が抗体の親和性亢進に重要な機能をしていることが明らかになった。

10

4. GANP 遺伝子を導入したトランスジェニック非ヒト哺乳動物

gp120 による免疫の対象となる動物は、GANP 遺伝子を導入したトランスジェニック非ヒト哺乳動物であり、当該トランスジェニック非ヒト哺乳動物は、好ましくは、導入した GANP 遺伝子を B 細胞で発現することができる。

15 (1) GANP 遺伝子とその関連分子

GANP 遺伝子とその関連分子で形成される複合体は、遺伝子に変異を誘導するプロセスで直接および間接的に必要な分子である。GANP タンパク質は、遺伝子変異を修復する際に、高親和性の抗体が得られるように V 領域の変異の誘導を促す能力を保有していることから、本発明のトランスジェニック非ヒト哺乳動物は、20 この GANP 遺伝子又はその変異遺伝子の導入によって、獲得性免疫の高親和性抗体産生を促進することができる。また、この遺伝子を過剰に発現するトランスジェニック非ヒト哺乳動物は、速やかに抗原に対する結合力の高い抗体を産生することができる。従って、上記トランスジェニック非ヒト哺乳動物を所定の抗原で免疫することで、従来では得られないような高親和性の抗体を簡便に得ることができる。その結果、難治性の病原微生物や異物を排除できるポリクローナル抗体又はモノクローナル抗体を得ることができる。また、本発明のトランスジェニック非ヒト哺乳動物を用いてヒト型化抗体を作製することによって、あるいは、本

発明のトランスジェニック非ヒト哺乳動物が産生する抗体のV領域を含む一本鎖 抗体を作製することによって、抗体療法の効力を飛躍的に高めることが可能とな る。

本発明のトランスジェニック非ヒト哺乳動物は、GANP 又はその変異遺伝子の 等入によって、B細胞で高親和性抗体の産生を促進することができ、前記高親和 性抗体産生細胞はアポトーシスを誘導するシグナルに対して抵抗性を有する。

(2) GANP 遺伝子導入用哺乳動物

15

20

本発明における「哺乳動物」とは、ウシ、ウマ、ブタ、ヤギ、ウサギ、イヌ、10 ネコ、マウス、ラット、ハムスター及びモルモット等の任意の非ヒト哺乳動物を意味し、好ましくはマウス、ウサギ、ラットまたはハムスターであり、特に好ましくはマウスである。

本発明のトランスジェニック非ヒト哺乳動物は、未受精卵、受精卵、精子およびその始原細胞を含む胚芽細胞などに対して、好ましくは、非ヒト哺乳動物の発生における胚発生の段階(さらに好ましくは、単細胞または受精卵細胞の段階でかつ一般に8細胞期以前)の細胞に対して、リン酸カルシウム法、電気パルス法、リポフェクション法、凝集法、マイクロインジェクション法、パーティクルガン法、DEAE・デキストラン法などにより、GANP遺伝子を導入することにより作製することができる。また、上記遺伝子導入方法により、体細胞、生体の臓器、組織細胞などに目的とするGANP遺伝子を転移させ、細胞培養、組織培養などに利用することもできる。さらに、これら細胞を上述の胚芽細胞と公知の細胞融合法により融合させることにより、トランスジェニック非ヒト哺乳動物を作製することもできる。

GANP 遺伝子を対象動物に導入させる際、当該遺伝子を対象となる動物の細胞で発現させうるプロモーターの下流に連結した遺伝子構築物として導入することが好ましい。具体的には、目的とする GANP 遺伝子を有する各種哺乳動物由来のGANP 遺伝子を発現させうる各種プロモーターの下流に、GANP 遺伝子を連結し

たベクターを、対象となる哺乳動物の受精卵(例えば、マウス受精卵)にマイクロインジェクションすることによって、目的とする GANP 遺伝子を高発現するトランスジェニック非ヒト哺乳動物を作製することができる。

5 (3) 発現ベクター

GANP 遺伝子の発現ベクターとしては、大腸菌由来のプラスミド、枯草菌由来のプラスミド、酵母由来のプラスミド、λ ファージなどのバクテリオファージ、モロニー白血病ウイルスなどのレトロウイ ルス、ワクシニアウイルス又はバキュロウイルスなどの動物又は昆虫ウイルスな どが用いられる。

10 遺伝子発現の調節を行うプロモーターと しては、たとえばウイルス由来遺伝子のプロモーター、各種哺乳動物(ヒト、ウ サギ、イヌ、ネコ、モルモット、ハムスター、ラット、マウスなど)および鳥類 (ニワトリなど) 由来遺伝子のプロモーターなどを使用することが可能である。

ウイルス由来遺伝子のプロモーターとしては、例えばサイトメガロウイルス、 15 モロニー白血病ウイルス、JC ウイルス、乳癌ウイルス等由来遺伝子のプロモー ターが挙げられる。

各種哺乳動物及び鳥類由来遺伝子のプロモーターとしては、例えば、アルブミン、インスリン II、エリスロポエチン、エンドセリン、オステオカルシン、筋クレアチンキナーゼ、血小板由来成長因子 β 、ケラチン K1,K10 および K14、コラーゲン I 型および II 型、心房ナトリウム利 尿性因子、ドーパミン β ・水酸化酵素、内皮レセプターチロシンキナーゼ、ナトリウムカリウムアデノシン 3 リン酸化酵素、ニューロフィラメント軽鎖、メタロチオネイン I 及び IIA、メタロプロティナーゼ 1 組織インヒビター、MHC クラス I 抗原、平滑筋 α アクチン、ポリペプチド鎖延長因子 1α (EF- 1α)、 β アクチン、 α 及び β ミオシン重鎖、ミオシン 軽鎖 1 及び 2、ミエリン基礎タンパク、血清アミロイド 2 アコンポーネント、ミオグロビン、レニンなどの遺伝子のプロモーターが挙げられる。

上記ベクターは、トランスジェニック非 ヒト哺乳動物において目的とするメッ

センジャーRNA の転写を終結するターミネターを有していてもよい。その他、GANP 遺伝子をさらに高発現させる目的で、各遺伝子のスプライシングシグナル、エンハンサー領域、真核生物遺伝子のイントロンの一部をプロモーター領域の5'上流、プロモーター領域と翻訳領域間、あるいは翻訳領域の3'下流 に連結することも所望により可能である。

本発明の好ましい態様では、免疫グロブリンプロモーターの下流に GANP 遺伝子を連結することにより、あるいはヒト免疫グロブリン遺伝子イントロンエンハンサー部分を GANP 遺伝子の 5'側に連結することにより、GANP 遺伝子を B 細胞で選択的に発現させることができる。

10

(4) GANP 遺伝子の導入

受精卵細胞段階における GANP 遺伝子の導入は、例えば対象の哺乳動物の胚芽細胞および体細胞の全てに過剰に存在するように確保することが好ましい。遺伝子導入後の作出動物の胚芽細胞において GANP 遺伝子が過剰に存在することは、作出動物の子孫が全てその胚芽細胞および体細胞の全てに GANP 遺伝子を過剰に有することを意味する。そして、遺伝子を受け継いだこの種の動物の子孫は、その胚芽細胞および体細胞の全てに GANP 蛋白質を過剰に有する。

本発明においては、導入遺伝子を相同染色体の一方に持つヘテロ接合体を取得し、ヘテロ接合体同士を交配することで導入遺伝子を相同染色体の両方に持つホ 20 モ接合体を取得し、この雌雄の動物を交配することによりすべての子孫が導入された GANP 遺伝子を安定に保持する。そして、GANP 遺伝子を過剰に有することを確認して、通常の飼育環境で繁殖継代することができる。

トランスジェニック対象動物が有する内在性の遺伝子とは異なる遺伝子である 外来性 GANP 遺伝子を対象非ヒト哺乳動物(好ましくはマウスなど)、又はその 25 先祖の受精卵(パッククロス)に転移する際に用いられる受精卵は、同種の雄哺 乳動物と雌哺乳動物を交配させることによって得られる。

受精卵は自然交配によっても得られるが、雌哺乳動物の性周期を人工的に調節

した後、雄哺乳動物と交配させる方法が好ましい。雌哺乳動物の性周期を人工的に調節する方法としては、例えば、初めに卵胞刺激ホルモン(妊馬血清性性腺刺激ホルモン(PMSG))、次いで黄体形成ホルモン(ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン(hCG))を、例えば腹腔注射などにより投与する方法が好ましい。

5

10

25

得られた受精卵に、前述の方法により外来性 GANP 遺伝子を導入した後、雌哺乳動物に人工的に移植・着床することにより、外来性遺伝子を組み込んだ DNA を有する非ヒト哺乳動物が得られる。雌哺乳動物に黄体形成ホルモン放出ホルモン(LHRH)を投与後、雄哺乳動物と交配させることにより受精能を誘起された偽妊娠雌哺乳動物に、受精卵を人工的に移植・着床させる方法が好ましい。遺伝子を導入する全能性細胞としては、マウスの場合、受精卵や初期胚を用いることができる。また培養細胞への遺伝子導入法としては、トランスジェニック非ヒト哺乳動物個体の産出効率や次代への導入遺伝子の伝達効率を考慮した場合、DNA のマイクロインジェクションが好ましい。

遺伝子を注入した受精卵は、次に仮親の卵管に移植され、個体まで発生し出生した動物を里親につけて飼育させたのち、体の一部(マウスの場合には、例えば、尾部先端)から DNA を抽出し、サザン解析や PCR 法により導入遺伝子の存在を確認することができる。導入遺伝子の存在が確認された個体を初代(Founder)とすれば、導入遺伝子はその子(F1)の 50%に伝達される。さらに、この F1 個体を野生型動物または他の F1 動物と交配させることにより、2 倍体染色体の片方 (ヘテロ接合)または両方(ホモ接合)に導入遺伝子を有する個体(F2)を作製することができる。

あるいは、GANP 蛋白質高発現トランスジェニック非ヒト哺乳動物は、上記した GANP 遺伝子を ES 細胞 (embryonic stern cell) に導入することによって作製することもできる。例えば、正常マウス胚盤胞 (blastocyst) に由来する HPRT 陰性 (ヒポキサンチングアニン・フォスフォリポシルトランスフェラーゼ遺伝子を欠いている) ES 細胞に、GANP 遺伝子を導入する。当該 GANP 遺伝子がマウス内在性遺伝子上に相同組み換えを起こさせ、インテグレートされた ES 細胞を

HAT セレクション法により選別する。次いで、選別した ES 細胞を、別の正常マウスから取得した受精卵(胚盤胞)にマイクロインジェクションする。得られた 胚盤胞を、仮親としての別の正常マウスの子宮に移植する。その後、仮親マウス からキメラトランスジェニックマウスが生まれる。生まれたキメラトランスジェニック マウスを正常マウスと交配させることにより、ヘテロトランスジェニック マウスを得ることができる。そして、ヘテロトランスジェニックマウス同士を交配することにより、ホモトランスジェニックマウスが得られる。

本発明においては、上記したトランスジェニック非ヒト哺乳動物に限らず、その子孫、並びにトランスジェニック非ヒト哺乳動物又はその子孫の一部も本発明の範囲内である。トランスジェニック非ヒト哺乳動物の一部としては、当該トランスジェニック非ヒト哺乳動物又はその子孫の組織、器官及び細胞などが挙げられ、器官または組織としては、脾臓、胸腺、リンパ節、骨髄あるいは扁桃腺などが挙げられ、細胞としては B 細胞などが挙げられる。

本発明のトランスジェニック非ヒト哺乳動物は、B細胞をさらに活性化する哺
15 乳動物と交配することも可能であり、これによりさらに高親和性抗体を産生する
ことが可能である。

最近、MRL/lpr マウスで B 細胞が末梢のリンパ節での活性化の際に胚中心を経過した後、T 細胞領域でさらに V 領域の突然変異誘導が亢進していることが報告されている。また、本発明者らも MRL/lpr マウスにおいて GANP 遺伝子が Ig プロモーター、エンハンサーの下流に結合して作製した ganp トランスジェニックマウスに見られるのと同等の高い発現が、非免疫の状態で見られることを見出している。このことは、正常では自己の抗原に対しては高親和性の抗体はできないのに対して、この自己免疫疾患マウスでは、GANP 分子の異常な活性化が起こるために、自己の抗原に対しての高親和性抗体が産生されることとなる可能性が示と5を吹きれる。

そこで、上記 B 細胞をさらに活性化する動物として、自己免疫疾患マウスであるとされる MRL/lpr, NZB, (NZB x NZW)F1 などを用いれば、さらに高い変異誘

導を期待できる。

以上のことを利用した MLR/Ipr マウスの GANP トランスジェニックマウスを作製することによって、スーパー高親和性抗体産生マウスを作出できる可能性がある。すなわち、本発明の GANP 遺伝子過剰発現トランスジェニック非ヒト哺乳動物とさまざまな自己免疫疾患モデル動物との交配により、高親和性抗体を産生できる哺乳動物を作製することができる。

5. HIV gp120 に対する高親和性抗体の作製

(1) 高親和性抗体

本発明において「抗体」とは、抗原である gp120 のアミノ酸配列第 308-330 番目のペプチドに結合し得る抗体分子全体(ポリクローナル抗体であってもモノクローナル抗体であっても良い)またはその断片を意味する。また、本発明の抗体のアイソタイプは特に限定されず、例えば、 $IgG(IgG_1, IgG_2, IgG_3, IgG_4)$ 、IgM、 $IgA(IgA_1, IgA_2)$ 、IgD 又は IgE である。

15 本発明では、抗原に対する反応性が高い抗体のことを高親和性抗体という。「高 親和性」とは、抗体が抗原と結合する結合能が高いことを意味し、抗体の結合能 が一般のマウスなどの動物を用いて作製した抗体と比較して高く、また逆に当該 抗原から解離することが遅い抗体のことをいう。これはエピトープに対して、立 体的に密接して結合する能力が高く特異的であることを意味すると共に、抗体が 20 結合することによってエピトープのみならずその抗原の構造の変換をきたすこと によって結果的に強力な活性、例えば毒素中和活性、HIVの感染性阻止、不活性 化などの生物活性を示すことも包含している。

抗体の結合能(親和性)は、スキャッチャード解析や Biacore と呼ばれる表面 プラズモン共鳴センサーにより、解離定数(KD)、解離速度定数(Kdiss)、結合速度 定数(Kass)として測定することができる。Biacore 装置は、センサーチップ、マ イクロ流路系、SPR 検出系の 3 つの技術を統合して分子結合の強さ、速さ、選択 性を測定するというものであり、標識を使わずにリアルタイムで生体分子の検出

と複数個の分子間での相互作用のモニタリングを行うことができる。Biacore 装置としては、例えば Biacore 3000、Biacore 2000、Biacore X、Biacore J、Biacore Q (いずれも Biacore 社) などが挙げられる。

上記 Biacore によって、抗体の親和性を示すパラメーター、すなわち解離定数 (KD)、解離速度定数(Kdiss) [1/Sec] 及び結合速度定数(Kass) [1/M.Sec]を測定する。

抗体は、解離定数(KD 値)が小さい値であるほど親和性が高いという点で好ましい。抗体の結合能(親和性)は、Kdiss 及び Kass の2つのパラメーターにより決定され、

10 KD[M] = Kdiss/Kass

により表わされる。

抗原の種類等複数の要因によって、得られる抗体の親和性は異なるが、KD 値は 1×10^{-9} (M)以下であることが好ましく、 1.5×10^{-10} (M)以下であることがより好ましく、 1.0×10^{-10} (M)以下(特に 9.9×10^{-11} (M)以下)であることがさらに好ましい。

本発明においては、作製された抗体が上記いずれかの作用又は性質を発揮する抗体であるときに、高親和性であると判断される。

本発明の抗体(ポリクローナル抗体及びモノクローナル抗体及び活性フラグメント)は、種々の方法のいずれかによって製造することができる。このような抗20 体の製造法は当該分野で周知である。

(2) ポリクローナル抗体の作製

上記の通り作製した抗原を GANP トランスジェニック非ヒト哺乳動物に投与する。哺乳動物は特に限定されものではなく、例えばラット、マウス、ウサギな25 どを挙げることができるが、GANP トランスジェニックマウス、又は GANP トランスジェニックウサギが好ましい。

抗原の動物一匹あたりの投与量は、アジュバントを用いないときは、5~50

mgであり、アジュバントを用いるときは 0.5~2 mgである。アジュバントとしては、フロイント完全アジュバント(FCA)、フロイント不完全アジュバント(FIA)、水酸化アルミニウムアジュバント、トレハロースダイマイコレート(TDM)、リポ多糖(LPS)、シリカアジュバント、市販の免疫賦活薬等が挙げられる。免疫は、主として静脈内、皮下、腹腔内等に注入することにより行われる。また、免疫の間隔は特に限定されず、数日から数週間間隔、好ましくは 1~5 週間間隔で、1~10回、好ましくは 2~3回免疫を行う。そして、最終の免疫日から 6~60日後に酵素免疫測定法(ELISA[enzyme·linked immunosorbent assay]又はEIA[enzyme·immunoassay])、放射性免疫測定法(RIA[radioimmuno assay])等で10 抗体価を測定し、所望の抗体価を示した日に採血し、抗血清を得る。上記抗体の採取方法において、抗体の精製が必要とされる場合は、硫安塩析法、イオン交換クロマトグラフィー、ゲル濾過、アフィニティークロマトグラフィー等の公知の方法を適宜選択して、又はこれらを組み合わせることにより精製することができる。

15 その後は、抗血清中のポリクローナル抗体の反応性を ELISA 法などで測定する。

(3) モノクローナル抗体の作製

(a)抗体産生細胞の採取

20 前記のように作製した抗原を、GANPトランスジェニック非ヒト哺乳動物、例えばラット、マウス、ウサギなどに投与する。抗原の動物一匹あたりの投与量はアジュバントを用いないときは、0.05~2mgであり、アジュバントを用いるときは0.05~2mgである。アジュパントとしては、フロイント完全アジュバント(FCA)、フロイント不完全アジュバント(FIA)、水酸化アルミニウムアジュバント、BCG、25 トレハロースダイマイコレート(TDM)、リポ多糖(LPS)、シリカアジュバント等が挙げられるが、抗体の誘導能等の関係から、FCAと FIAとを組み合わせて使用することが好ましい。免疫は、主として静脈内、皮下、腹腔内に注入すること

により行われる。また、免疫動物は、抗原の初回免疫後、さらに、追加免疫を数回行い、適当な日数を経過した後に部分採血を行い、上記方法で抗体価を測定することが好ましい。本発明の方法で産生される抗体は高親和性抗体であるため、上記免疫は初回のみで十分である可能性がある。免疫の間隔は特に限定されず、

5 数日から数週間間隔、好ましくは 2~5 週間間隔で、1~10 回、好ましくは 1~5 回免疫を行う。そして、最終の免疫日から 1~60 日後、好ましくは 1~14 日後に 抗体産生細胞を採集する。抗体産生細胞としては、脾臓細胞、リンパ節細胞、末 梢血細胞などが挙げられるが、脾臓細胞、又は局所リンパ節細胞が好ましい。

上記のようにして得られる本発明の高親和性抗体産生細胞も本発明に含まれる。

10 (b) 細胞融合

25

例えば、GANPトランスジェニックマウスを用いた場合、ハイブリドーマを得るため、抗体産生細胞とミエローマ細胞との細胞融合を行う。抗体産生細胞と融合させるミエローマ細胞として、マウスなどの動物の一般に入手可能な株化細胞を使用することができる。使用する細胞株としては、薬剤選択性を有し、未融合の状態では HAT 選択培地(ヒポキサンチン、アミノプテリン、チミジンを含む)で生存できず、抗体産生細胞と融合した状態でのみ生存できる性質を有するものが 好ましい。ミエローマ細胞としては、例えば、P3-X63.Ag8(X63)、P3-X63.Ag8.U1(P3U1)、P3/NS I/1-Ag4-1(NS1)、Sp2/0-Ag14(Sp2/0)等のマウスミエローマ細胞株を挙げることができる。ミエローマ細胞の選択に当たっては、抗体産生細胞との適合性を適宜考慮する。

次に、上記ミエローマ細胞と抗体産生細胞とを細胞融合させる。細胞融合は、血清を含まない DMEM、RPMI-1640 培地などの動物細胞用培地中で、1×106~1×107個/ml の抗体産生細胞と 2×105~2×106個/ml のミエローマ細胞とを混合し(抗体産生細胞とミエローマ細胞との細胞比5:1が好ましい)、細胞融合促進剤存在の下で融合反応を行う。細胞融合促進剤として、平均分子量 1000~6000 ダルトン(D)のポリエチレングリコールなどを使用することができる。また、電気刺激(例えばエレクトロポレーション)を利用した市販の細胞融合装置

を用いて、抗体産生細胞とミエローマ細胞とを融合させることもできる。

(c) ハイブリドーマの選別及びクローニング

細胞融合処理後の細胞から目的とするハイブリドーマを選別する。その方法として、細胞懸濁液を例えばウシ胎児血清含有 RPMI·1640 培地などに適当に希釈 後、マイクロタイタープレート上にまき、各ウェルに選択培地を加え、以後適当に選択培地を交換して培養を行う。その結果、選択培地で培養開始後、14日前後から生育してくる細胞をハイブリドーマとして得ることができる。

次に、増殖してきたハイブリドーマの培養上清中に、gp120 に反応する抗体が存在するか否かをスクリーニングする。ハイブリドーマのスクリーニングは、通10 常の方法に従えばよく、特に限定されるものではない。例えば、ハイブリドーマとして生育したウェルに含まれる培養上清の一部を採集し、ELISA、EIA、RIAなどによってスクリーニングすることができる。

融合細胞のクローニングは、限界希釈法等により行う。gp120 に強い反応性を示す抗体であって、親和性を示す値が KD= 1×10⁻⁹ (M)以下である抗体を産生するハイブリドーマを選択し、樹立する。

(d) モノクローナル抗体の採取

15

樹立したハイブリドーマを培養し、得られる培養物からモノクローナル抗体を 採取する方法として、通常の細胞培養法、又は腹水形成法等を採用することがで きる。「培養」とは、上記ハイブリドーマをシャーレやディッシュで生育するこ 20 と、または上記ハイブリドーマを下記のように腹腔内で増殖することを意味する。 また、「培養物」とは、培養上清、培養細胞若しくはその破砕物、又は腹水のい ずれをも意味するものである。

細胞培養法においては、ハイブリドーマを 10%ウシ胎児血清含有 RPMI·1640 培地、MEM 培地又は無血清培地等の動物細胞培養培地中で、通常の培養条件(例 25 えば 37℃、5%CO2 濃度)で 7~14 日間培養し、その培養上清から抗体を取得する。

腹水形成法の場合は、ミエローマ細胞由来の哺乳動物と同種系動物の腹腔内に

ハイブリドーマを約 1×10^7 個投与し、ハイブリドーマを大量に増殖させる。そして、 $1 \sim 2$ 週間後に腹水を採集する。

上記抗体の採取方法において、抗体の精製が必要とされる場合は、硫安塩析法、 イオン交換クロマトグラフィー、ゲル濾過、アフィニティークロマトグラフィー 等の公知の方法を適宜選択して、又はこれらを組み合わせることにより精製する ことができる。

(e) モノクローナル抗体の結合領域の利用

モノクローナル抗体は HIV 抗原に結合することで感染阻止、および HIV ウイルスの中和、排除を行う活性を有するが、その際には H 鎖ではどの V 領域遺伝 子を用いているか、どの D 領域の遺伝子、J 領域遺伝子を用いているか、さらに N 配列が挿入されているか、またどの L 鎖の V 領域遺伝子を用いているか、J 領域遺伝子を用いているかが高親和性抗体作製の基盤になる。しかし、結合親和性に関しては、これらに加えて、末梢のリンパ組織で誘導される V 領域遺伝子の体細胞突然変異の程度によって大きく変化する。ここではモノクローナル抗体の抗原結合に関わる領域、すなわち H 鎖と L 鎖のそれぞれ 3 つの CDR 領域の構造によって、体細胞突然変異の程度が決まる。したがって、本発明で得られる高親和性の結合領域の情報を用いれば、ヒトの EB ウイルスでトランスフォームした記憶 B 細胞株で抗 HIV 抗体産生細胞を樹立して、その V 領域にここで得られている情報を直接遺伝子操作技術で導入することによって高親和性抗体を得ることも可能である。

(4) 抗体断片、ヒト型化抗体又はヒト化抗体

上記の抗体の断片及び V 領域の一本鎖抗体も本発明の範囲内である、抗体の断片としては、前述したポリクローナル抗体又はモノクローナル抗体の一部分の領型を意味し、具体的には F(ab')2、Fab'、Fab、Fv(variable fragment of antibody)、sFv、dsFv(disulphide stabilized Fv)、あるいは dAb(single domain antibody)等が挙げられる。一本鎖抗体は、VL(L 鎖可変領域)と VH(H 鎖可変領域)をリン

カーでつないだ構造を持つ。

本発明の高親和性抗体は、ヒト型化抗体やヒト抗体でも良い。これらの抗体は、 免疫系をヒトのものと入れ換えた哺乳動物を用いて、 該哺乳動物を免疫して、 通 常のモノクローナル抗体と同様に直接ヒト抗体を作製することができる。

ヒト型化抗体を作製する場合は、マウス抗体の可変領域から相補性決定領域 (complementarity determining region; CDR)をヒト可変領域に移植して、フレームワーク領域(FR)はヒト由来のものを、CDR はマウス由来のものからなる再構成した可変領域を作製する。

次にこれらのヒト型化された再構成ヒト可変領域をヒト定常領域に連結する。 ヒト型化抗体の作製法は、当分野において周知である。

ヒト抗体は、一般に V 領域の抗原結合部位、すなわち超過変領域(Hyper Variable region)についてはその特異性と結合親和性が問題となるが、構造的にどの動物で作製してもかまわない。一方 V 領域のその他の部分や定常領域の構造は、ヒトの抗体と同じ構造をしていることが望ましい。ヒトに共通の遺伝子配列については遺伝子工学的手法によって作製する方法が確立されている。

(5)抗体の特性

5

本発明の GANP トランスジェニック非ヒト哺乳動物より産生される抗体は、以下の(i)~(iv)の少なくとも1つの性質を有する。

- (i) HIV の外被膜にある分子量 120kD の糖タンパク質抗原 gp120 と結合して、HIV を中和する。
 - (ii) HIV に感染された細胞の表面に結合することによって、感染された細胞と 感染されない T 細胞により誘発される合胞体の形成を阻止する。
 - (iii) gp120(308-330) の領域の少なくとも一部のエピトープを認識する。
- 25 (iv) gp120(308·330) 領域の少なくとも一部に対し、高親和性(KD=1×10·9(M)以下)に結合する。

合胞体とは、感染細胞が非感染細胞を取り込んで一つの細胞になることをいう。

in vitro で HIV を細胞と培養すると、合胞体が形成されることがあり、このような合胞体は、生存できずに死滅する。HIV の中でも合胞体を作りやすい SI 型 HIV の感染者では、CD4+リンパ球の減少が早く、エイズへの進展が早く起こることが知られている。

5

15

6. 医薬組成物

本発明の高親和性抗体は、AIDSの病原である HIV を抗原として、その活性を中和させる作用を有するため、AIDS の治療又は予防用医薬組成物として有用である。本発明の医薬組成物は、本発明の高親和性抗体又はその断片を有効成分として含み、さらに薬学的に許容される担体を含む医薬組成物の形態で提供することが好ましい。

ここで「薬学的に許容され得る担体」とは、賦形剤、希釈剤、増量剤、崩壊剤、 安定剤、保存剤、緩衝剤、乳化剤、芳香剤、着色剤、甘味剤、粘稠剤、矯味剤、 溶解補助剤あるいはその他の添加剤等が挙げられる。そのような担体の一つ以上 を用いることにより、注射剤、液剤、カプセル剤、懸濁剤、乳剤あるいはシロッ プ剤等の形態の医薬組成物を調製することができる。これらの医薬組成物は、経 口あるいは非経口的に投与することができる。非経口投与のためのその他の形態 としては、一つまたはそれ以上の活性物質を含み、常法により処方される注射剤 などが含まれる。

20 本発明の薬剤の投与量は、患者の年齢、性別、体重及び症状、治療効果、投与方法、処理時間、あるいは該薬剤に含有される活性成分である高親和性抗体の種類などにより異なるが、通常成人一人当たり、一回につき $10 \mu g$ から 1000 m g、好ましくは $10 \mu g$ から 100 m g の範囲で投与することができるが、この範囲に限定されるものではない。体液量は、体重を 60 k g とすると 5 リットルと産出で25 きる。抗体の有効な濃度は in vitro の実験では $5 \sim 50 \mu g/m l$ である場合が多く、単純に計算すると $25 \sim 250 m g$ の抗体が少なくとも数日間体内で存在することが望ましい。

例えば、注射剤の場合には、例えば生理食塩水あるいは市販の注射用蒸留水等の薬学的に許容される担体中に 0.1 μg 抗体/ml 担体~10mg 抗体/ml 担体の濃度となるように溶解または懸濁することにより製造することができる。このようにして製造された注射剤は、処置を必要とするヒト患者に対し、1回の投与において1kg体重あたり、1μg~100mgの割合で、好ましくは50μg~50mgの割合で、1日あたり1回~数回投与することができる。投与の形態としては、静脈内注射、皮下注射、皮内注射、筋肉内注射あるいは腹腔内注射などが挙げられるが、好ましくは静脈内注射である。また、注射剤は、場合により、非水性の希釈剤(例えばプロピレングリコール、ポリエチレングリコール、オリーブ油のような植物油、エタノールのようなアルコール類など)、懸濁剤あるいは乳濁剤として調製することもできる。そのような注射剤の無菌化は、フィルターによる濾過滅菌、殺菌剤の配合等により行うことができる。注射剤は、用時調製の形態として製造することができる。即ち、凍結乾燥法などによって無菌の固体組成物とし、使用前に無菌の注射用蒸留水または他の溶媒に溶解して使用することができる。

15

20

25

10

7. HIV 検出キット

本発明の高親和性抗体は、疾患の診断、治療又は予防のための薬剤として有用である。

本発明の抗体を用いた HIV 感染の検出は、被験者から採取した検体、例えば唾液や血液等と本発明の抗体又はその断片とを抗原抗体反応によって結合させ、結合した抗体量により検体中の目的とする抗原の量を測定することにより行う。抗体量の検出は、公知の免疫学的測定法に従って行えばよく、例えば、免疫沈降法、免疫凝集法、標識免疫測定法、免疫比懸濁法などを用いることができる。特に、標識免疫測定法が簡便且つ高感度という点で好ましい。標識免疫測定法では、検体中の抗体価は標識抗体を用いて直接検出した標識量で表すほか、既知濃度あるいは既知抗体価の抗体を標準液として相対的に表してもよい。すなわち、標準液と検体を測定計により測定し、標準液の値を基準にして検体中の抗体価を相対的

に表すことができる。標識免疫測定法としては、公知の測定法、例えば ELISA 法、EIA 法、RIA 法、蛍光免疫測定法(Fluoroimmunoassay: FIA)、化学発光免疫測定法(Luminescence immunoassay)などを任意に利用することができる。

また、本発明の高親和性抗体を利用することにより、AIDS 治療薬の薬効評価を高感度に行うことができる。本発明の高親和性抗体を利用した薬効評価方法は、AIDS 患者あるいはヒトリンパ細胞を移入して作製した AIDS モデル動物 (SCID-Hu マウス) に対して薬剤を投与後、これら生体中の HIV あるいは各モデル動物に対する免疫不全ウイルスの量を本発明の抗体を用いて検出し、その量を比較することにより、生体中の抗原の量を通して AIDS 治療薬としての薬効を評価することができる。その際、従来の抗体に比べて 2 倍から 1 0 0 倍の感度を有することが期待できる。

本発明の高親和性抗体は、各種疾患診断用キットの形態で提供することができる。該キットは、本発明の診断方法や本発明の薬効評価方法に使用することができる。また、輸血製剤や、生体サンプルの HIV ウイルス感染有無のチェックをするための、高感度で、敏速で、簡便なキットとして使用できる。本発明のキットは以下の(a)及び(b)から選ばれる少なくとも一つ以上を含む。

- (a)本発明の抗体又はその標識物
- (b)前項(a)記載の抗体又はその標識物を固定した固相化試薬

ここで、抗体の標識物とは、酵素、放射性同位体、蛍光化合物、または化学発 20 光化合物によって標識されたものを意味する。

本発明のキットは、上記の構成要素の他、本発明の検出を実施するための他の試薬、例えば標識物が酵素標識物の場合は、酵素基質(発色性基質等)、酵素基質溶解液、酵素反応停止液、あるいは検体用希釈液等を含んでいても良い。

25 以下、実施例により本発明をさらに具体的に説明するが、本発明は実施例によって限定されるものではない。

本実施例は、通常免疫に用いられることの多い Balb/c マウス、野生型(WT)マウス及び GANP トランスジェニック(Tg)マウスの3種のマウスに、免疫抗原として HIV の中和活性が期待できる HIV24NL43(308-330)のペプチドをキャリアー蛋白に結合したものを免疫した。それぞれのマウスの中から各2匹を用いて細胞融合を行い、ELISA 法、Biacore による測定にてスクリーニングし、陽性ハイブリドーマを得た。さらに各ハイブリドーマから得られた精製抗体を用いて、ELISA 法および Biacore を用いた解析を実施した。

その結果、GANP トランスジェニック(Tg)マウスから得られたモノクローナル抗体(3クローン)は、かなりの高親和性モノクローナル抗体であり、親和性 の指標となる解離定数は高いものでは KD ($KD = k \ diss / k \ ass$)=9.90×10⁻¹¹(M) であった。

実施例1:GANPトランスジェニック(Tg)マウスの作製

マウスへの導入用遺伝子は、pLG ベクターの EcoRI サイトに 5.3 kb のマウス GANP 遺伝子を挿入して作製した。このベクターはヒト免疫グロブリンイントロンエンハンサー領域(2 kb EcoRI フラグメント)を持ち、B 細胞での強力な発現を行う、特異的ベクターである。この遺伝子を直線化してマウスに遺伝子導入を行った。マウス GANP 全長 cDNA を含む線状化した pLG vector(Koike, M. et al. Int. Immunol. 7, 21-30 (1995))を C57BL/6 マウスの受精卵にマイクロインジェクションした。マウスの尾のゲノム DNA および以下のプライマー及び反応液を用いて導入遺伝子の存在についてスクリーニングした(図1、上パネル)。図1上パネルにおいて、5.3kb 付近のバンドは GANP 遺伝子のものである。

1-5' プライマー:5'-TCCCGCCTTCCAGCT GTGAC-3'(配列番号7)

1-3'プライマー:5'-GTGCTGCTGTGTTATGTCCT-3' (配列番号8)

25 反応液組成:

PCT/JP2004/003046

WO 2005/058963

DNA (50 ng/µ1)	1 μ1
10x buffer	2.0μ
2.5 mM dNTP mix	2.0μ
1-5' primer (10 μ M)	0.8 μΙ
1-3' primer $(10 \mu M)$	0.8 μΙ
Z-Taq DNA polymerase	0.1 μΙ
dH ₂ O	13.3 μΙ

反応条件:

[98℃ 5 sec; 59℃ 5 sec; 72℃ 10 sec] ×35 サイクル

4°C

5

GANP mRNA の発現が亢進しているか否かは、RT-PCR で確認した。

全 RNA は、脾臓又は脾臓 B 細胞から Trizol(Invitrogen)を用いて抽出し、RT·PCR は、2 種のプライマー1·5'及び 1·3'を用いて行い、cDNA を合成した (Kuwahara, K. et al., Blood 95, 2321·2328 (2000))。GANP 転写物はアガロ ースゲル電気泳動により検出した。β·アクチン転写物は対照として用いた。

その結果、GANP トランスジェニックマウスは、B 細胞で GANP の発現の増加を示し(図1、下パネル)、骨髄、脾臓及びリンパ節の細胞の表層マーカー分析において、B 系細胞の通常の分化を示した。

15 実施例2:抗体の作製

(1) 材料

- (a) 動物: Balb/c マウス、野生型 (WT) マウスと GANP トランスジェニック (Tg) マウス
 - (b)免疫抗原: HIV24NL43 ペプチドKLHコンジュゲーション
- 20 (c) ELISA 抗原: HIV24NL43 ペプチド(配列: CNNTRKSIRI QRGPGRAFVT IGKI(配列番号9))
 - (d)ミエローマ細胞: P3·X63.Ag8.U1

(e) 2 次抗体: HRP 標識抗マウス抗体 IgG・A・M

(2) 方法

25

上記3種のマウスの各5匹に、免疫抗原として NL43ペプチド (キャリアータンパク質: KLH) を、2週間おきに3回免疫し、3回免疫後採血抗血清を用いて抗体価を ELISA 法にて測定した。

この中から、力価の高いマウス各 2 匹から抗体産生細胞(脾細胞)を採取し、 脾細胞と P3U1 ミエローマ細胞との細胞融合を実施した。GANP・Tg マウスの脾 細胞数が 0.2×10⁵/ウェルになるようにまきこみ、それぞれ、Balb/c マウス:5448 クローン、野生型 (WT) マウス:1888 クローン、GANP トランスジェニック (Tg) マウス:2016 クローンを HAT 培地にて培養した。

HAT 培養 9 日後の培養上清を用いて、NL43 ペプチド(1 マイクロ g/mL)を固相化抗原として ELISA 法を実施した。GANP・Tg マウスおよび WT の培養上清の母集団のそれぞれから、ELISA の結果にて 490nm 吸光度 1.50 以上のクローンを選出し、HT 培地にてクローニングを実施した。

HT 培養 9 日後の培養上清を用いて、NL43 ペプチド(1 マイクロ g/mL)を固相化抗原として ELISA 法を実施した結果、Balb/c マウスは 3 クローン(クローン名: B1·10, B2·24, B2·27)、野生型(WT)マウスは 9 クローン(クローン名: W1·2, W1·7, W1·8, W1·10, W1·21, W1·43, W1·45, W1·63, W1·84)、GANPトランスジェニック (Tg) マウスは 8 クローン (クローン名: G1·22, G1·68, G1·124, G1·165, G1·181, G2·231, G2·10, G2·25)のハイブリドーマを樹立した。

このうち、G2-25 は「Anti-NL43mono. Clone No.G2-25 ハイブリドーマ細胞」と称し、独立行政法人産業技術総合研究所 特許生物寄託センター(日本国茨城県つくば市東1丁目1番地1 中央第6(郵便番号 305-8566))に、2004 年 2月 25日付で FERM BP-08644 としてプダペスト条約に基づき国際寄託されている。

GANP-Tg マウス、WT のそれぞれのクローンを RPMI 培地にて培養し、さらに、無血清培地である SFM 培地にて培養し、Protein G 精製によって、抗ペプチ

ドモノクローナル精製抗体を作製した。

実施例3:親和性測定

上記実施例2で作製した各モノクローナル抗体を用いて、以下の評価検討を実 5 施した。

抗体の親和性を評価するにあたり、ELISA法とBiacore による解析を実施した。まず、ELISA法は、HIV24NL43ペプチド 1マイクロ g/mL をそれぞれ固相化抗原として用い、室温にて1時間固相化した。PBSTween20洗浄後、2.0%skimmilkにてブロッキングを実施した。さらにPBSTween20洗浄後、評価する抗ペプチドモノクローナル抗体(0.457~1マイクロg/mL)を用いて、室温にて1時間反応させた。次に、サンプルをPBSTween20洗浄後、HRP標識抗マウスIgG・A・Mと室温にて1時間反応させた。さらに、PBSTween20洗浄し、オルトフェニレンジアミン(OPD)にて5分間発色させ、2N硫酸を用いて反応を停止した。吸光度は、ELISA PLATE READERを用いて、490nmにて測定した。

15 ELISA の結果を図 2 に示す。

GANP・Tg マウスを用いることにより、極めて高い結合能を有する3つの抗体が作製された(図2、吸光度 $1.4\sim2.1$ 付近)。これらのモノクローナル抗体のクローン名は、吸光度の高い順に G1-181、G2-10、G2-25 である。

次に、Biacore を用いて物理化学的結合能を調べた。

- Biacore による解析は、HIV24NL43 ペプチドをリガンドとして Biacore センサーチップに結合させたものに、アナライト溶液として、抗ペプチドモノクローナル抗体を用いて、それぞれの結合速度定数(k ass)、解離速度定数(k diss)、そして親和性の指標となる解離定数 KD (KD = k diss / k ass)を算出した。KD が低い程、親和性は高いと評価される。
- 25 抗体の親和性の総合評価として、各クローンの解離定数と ELISA の結果を合わせて、図3に示す。図3において、クローンと解離定数との関係は以下の通りである。

解離定数(M)
1.09×10 ⁻⁸
9.90×10^{-11}
1.51×10^{-10}

抗体の結合親和性を検討するには Biacore による感度測定による方法が現在のところ最も有効であるが、この際の解離定数は単位時間当たりに結合する抗体の結合速度定数を結合した抗体の解離定数で割った数値として便宜的に算出される。抗体の活性はこのペプチドに対する親和性に加えて、抗体がどれだけ短時間で抗原に結合しうるかも重要な要素である。生体内でできるだけ速やかにウイルスと結合し、その結果ウイルス抗原の分子構造に変化を加えて、一層強固な結合状態に入ることも期待できる。G1·181 クローンは解離定数算出ではそれほど高いとはいえないものの、結合定数のプロファイルでは最も急速に多くの抗原分子と結合するという点で優れている。

- 10 通常、モノクローナル抗体作製のために用いる Balb/c マウスから得られた抗体は、解離定数 KD= 4.97×10⁻⁶~5.68×10⁻⁹ (MI) で、低親和性でかつ少数の抗体しか得ることができず、陰性コントロールの野生型 (WT) マウスにおいても、解離定数 KD= 2.81×10⁻⁵~3.11×10⁻⁹ (M) の範囲までしか得られず、限界があった。
- 15 これらに対して、GANPトランスジェニック(Tg)マウスにおいては、解離定数 KD= 9.90×10⁻¹¹(M)という高親和性抗体(G2-10)を得ることができ、この親和性は、Balb/c マウスのクローンの 57 倍、野生型(WT)マウスの 31 倍も高親和性であるといえる。

20 実施例4:モノクローナル抗体と NL43 エンベロープとの結合

上記実施例2で作製した抗 HIV ペプチド(NL43)モノクローナル抗体が実際のNL43(HIVのエンベロープタンパク質)に対してin vitroで結合能を有するかを明らかにするために、結合アッセイを実施した。

(1) 材料

(a) 抗 HIV (NL43)精製抗体

実施例2で作製した抗体を用いた。具体的には、以下に示す抗体を使用した。 Balb/c マウス:3クローン(クローン名:B1·10, B2·24, B2·27)、

野生型(WT)マウス:9クローン(クローン名:W1-2,W1-7,W1-8,W1-10,W1-21,W1-43,W1-45,W1-63,W1-84)

GANP トランスジェニック (Tg) マウス:8 クローン (クローン名:G1·22, G1·68, G1·124, G1·165, G1·181, G1·231, G2·10, G2·25)

また、対照として 70Z/3 2-28、0.5 β 及び anti-CD19 を用いた。

- (b) プラスミドベクター
- pLP·IRES2·EGFP (Clontech 社)、pLP·NL4·3 envelope·EGFP を使用した。
 本ベクターを用いることにより、単一の RNA からの目的遺伝子(NL43)と EGFP
 両方の翻訳が可能となるので、蛍光を示す細胞のほぼ 100%は NL43 を発現する。
 - (c) 遺伝子導入試薬

Effectene Transfection Reagent (QIAGEN)を使用した。

15 (d) 2 次抗体

APC 標識ヤギ抗マウス IgG 抗体 (BD Pharmingen)を使用した。

(2) 方法

結合アッセイは、エンベロープ(NL43)の発現をモニターするために、ヒト胎児 腎癌細胞株 (293 T細胞) に GFP を導入し、その細胞に抗 HIV (NL43)精製抗体 20 と APC 標識 2 次抗体を反応させ、細胞表面を染色する。次にフローサイトメトリーにより two-color 解析を行い、その蛍光強度によりエンベロープへの結合能をみるものである。

GFP 遺伝子の細胞への導入は、ヒト胎児腎癌細胞株(293 T細胞)を 10 cm ディッシュに 400000 個播き、1 日培養した後、Effectene Transfection Reagent を用い、pLP·IRES2·EGFP(Clontech 社)又は pLP·NL4·3·EGFP をそれぞれ 5 μg 導入した。36 時間培養した後、細胞を集め細胞表面染色を行った。細胞表面染色は、各 10 μg/mL の抗 HIV (NL43)精製抗体と、APC 標識ヤギ抗マウス IgG

抗体を50倍希釈したものを用いて、それぞれ氷上にて30分反応させた。

各抗 HIV モノクローナル抗体のエンベロープへの結合能 を、FACS Calibur を用いて平均蛍光強度(MFI)を算出することにより評価した。

(3) 結果

結合アッセイの結果を図4及び図5に示す。図4及び5は、GFP 陽性(+)と陰性(-)のそれぞれにゲートをかけた場合の平均蛍光強度(MFI)を棒グラフにしたものである。棒グラフは、pLP·NL4·3 envelope·EGFPを導入させた細胞において、GFP 陽性でのAPC 平均蛍光強度(MFI)が高いほど、エンベロープに有効に結合することを示す。結合アッセイの結果、GANPトランスジェニック(Tg)マウスにおいて作製したモノクローナル抗体(例えば G1·22、G1·68、G2·10、G2·25 クローン)は、エンベロープへの結合能を有することがわかった。

実施例5:モノクローナル抗体の中和活性

実施例4で使用した精製抗体を用いて、実際にそのモノクローナル抗体が 15 HIV-1 ウイルスの感染を阻止する能力を有するかを確認するために、ヒト CD4 陽性細胞における中和活性実験(ウイルス感染阻止実験)を行った。

(1) 材料

(a) 抗 HIV (NL43)精製抗体

実施例 4 で用いた各抗 HIV(NL43)精製抗体を使用した。また、対照として 70Z/3 20 2-28 及び 0.5β を用いた。

(b) HIV·1 保存株

非働化した牛胎児血清 10%を添加した RPMI·1640 培地 にて PM1 細胞を増殖させ、-80℃で保存したものを使用した。

- (c) βガラクトシダーゼ検出キット
- 25 β ガラクトシダーゼ検出キットは、Galacto-star(TROPIX)を使用した。エイズウイルス感染阻止 (中和活性) 実験において、本キットは、CD4 細胞(MAGI/CCR5) から産生される β ガラクトシダーゼを化学発光基質 (Reed-Muench 方法) を用

いて検出することによって、CD4 細胞の生死(生細胞数)を判定するものである。 (2) 方法

CD4細胞(MAGI/CCR5)を1日培養した後、一定のエイズウイルスを加えると、エイズウイルスにより感染した細胞からは、 β ガラクトシダーゼは検出されなくなる。このシステムにおいて、抗体の中和活性の測定は、エイズウイルス添加直前に、効力が異なる抗 HIV (NL43)精製抗体を上記 MAGI/CCR5 細胞にあらかじめ添加しておき、エイズウイルスを添加したときにエイズウイルスの感染を阻止できるか否かを、 β ガラクトシダーゼの産生量を指標として評価するものである。

この感染測定システムは、ウイルス感染に必要なウイルス量を高感度に決定す 10 ることを可能とする。MAGI/CCR5 細胞による予備検討により、添加するウイルス量は、ウイルスの 50%終末点(TCID50)を目安として、500 と決定した。

細胞を HIV に感染させるために、MAGI/CCR5 細胞を 1×10^4 /ウエルになるように 96 プレートで培養した。 1 日後、各抗体 $50\,\mu$ L を添加し、37^{\circ}で 30 分間 インキュベートした。続いて $10\,\mu$ g/mL の DEAE-dextran に反応させた HIV-1 溶液 $50\,\mu$ L を添加し、インキュベートした。添加したそれぞれの抗体濃度は、0.5、5 又は $50\,\mu$ g/mL の 3 濃度で実施した。 2 日後、 β ガラクトシダーゼ活性を Galacto-star(TROPIX)を用いて測定した。

(3) 結果

中和活性実験の結果を図6及び図7に示す。各抗体の中和活性を測定した結果、20 GANPトランスジェニック(Tg)マウスにおいて作製した G2-10及び G2-25 クローンは、各濃度において表1に示す HIV 中和活性を持つことがわかった。

表 1

クローン名	濃度	中和活性(感染阻止能力)
G2·10	$50\mu\mathrm{g/mL}$	98.2%±1.2
	$5 \mu \text{g/mL}$	$93.5\% \pm 1.7$
	$0.5\mu\mathrm{g/mL}$	$70.9\% \pm 9.7$
G2-25	$50\mu\mathrm{g/mL}$	$101.2\% \pm 0.4$
	$5 \mu \mathrm{g/mL}$	$97.6\% \pm 1.6$
	$0.5\mu\mathrm{g/mL}$	$86.3\% \pm 2.4$
0.5 β	$0.5\mu\mathrm{g/mL}$	$86.5\% \pm 3.0$

実際に治療用抗体として利用する際には、微量で感染阻止する能力を有することが重要となるため、G2·10 及び G2·25 による上記の値は、非常に低濃度で HIV 感染防止能力を示し、有効な HIV 治療薬として利用可能と考えられる。

中和活性測定の陽性コントロールには HIV エンベロープそのものを免疫して作製されたとして用いている抗体 $(0.5\,\beta)$ を用いた(第 2797099 号特許)。0.5 β の $0.5\,\mu$ g/mL においての中和活性能力は 86.5 ± 3.0 に及ぶが、上記 2 クローン、特に G2-25 における in vitro 感染阻止能力は、その抗体 $(0.5\,\beta)$ と同等または それ以上であるといえる。

これに対して、野生型(WT)マウスにおいて作製した 9 クローンの抗体の中和活性は、低濃度 $0.5\,\mu\,\mathrm{g/mL}$ においてほとんど中和活性が認められなかった。

実施例4及び5の結果は、GANPトランスジェニック(Tg)マウスで作製した 抗エイズペプチド(NL43)モノクローナル抗体が、実際に in vitro で HIV-1ウ イルスエンベロープに対して結合し(実施例4)、その結合が強力な中和活性(感染阻止力)を有することを示している(実施例5)。更に重要なことは解離定数 KD 値(9.90×10⁻¹¹)を示すことから、一度結合するとその後長期間ウイルスと 結合し続けることのできる高親和性抗体グループであるという点である(実施例3)。

20 このように強力なウイルス中和効果を持ち、抗原と解離する速度が著しく低い 高親和性モノクローナル抗体は、これまでに多くの研究室で試みられてきた HIV-1 ウイルスの遺伝子配列から推定するペプチド配列を基に作製した通常のモ

ノクローナル抗体作製技術では得ることのできない優れたものである。野生型 C57BL/6 マウスに免疫して作製したモノクローナル抗体では $50\,\mu\,\mathrm{g/ml}$ の濃度で 初めて高い中和活性を示すのに対して、GANPトランスジェニック(Tg)マウス 由来の G2-10,G2-25 モノクローナル抗体は両者ともわずか $0.5\,\mu\,\mathrm{g/ml}$ 濃度においてそれらに匹敵する中和活性を発揮している。単純計算ではタンパク質濃度あたり 100 倍の中和活性を示し、また、その結合が 10^2 オーダーの長期間に渡って持続することが期待できる。

これらのマウス抗 HIV-1 モノクローナル抗体は、(a)ウイルスペプチド配列に特異的な高親和性抗体であること、(b)実際に in vitro で HIV-1 ウイルスエンベロープに対して結合すること、(c)in vitro でのヒト CD 4 陽性細胞への HIV-1 ウイルス感染を阻止できること、(d)従来法と異なる遺伝子変異マウスによって作製していることから新たなエピトープに対する抗体である可能性があること、(e)この新たな VH 領域は更にバイオテクノロジーによる遺伝子改変を加えることによって更に強力な抗体を作製する基盤情報を提供するという長所を有している。

15 GANPトランスジェニック (Tg) マウスを用いてエイズウイルスの感染阻止作用を持つ高親和性抗体が速やかに得られるということは、これまでの研究成果とその応用の計画が正当であることを証明したものである。従って、本発明は、感染症に脅かされている現代において画期的な治療法開発につながる発明である点で極めて有用である。

20

配列表フリーテキスト

配列番号7:プライマー

配列番号8:プライマー

25 産業上の利用可能性

本発明により、GANP 遺伝子トランスジェニック非ヒト哺乳動物から得られる、 高親和性抗 HIV 抗体、及び該抗体を含む医薬組成物が提供される。本発明の抗体

は、KD=1.0×10⁻⁹(M)以下の高親和性を有しているため、本発明の抗体を含む医薬組成物は、後天性免疫不全症候群(AIDS)の治療薬として使用することができる。 さらに、本発明により、該抗体を産生する細胞、及び該抗体を利用した HIV の

5

検出キットも提供される。

請求の範囲

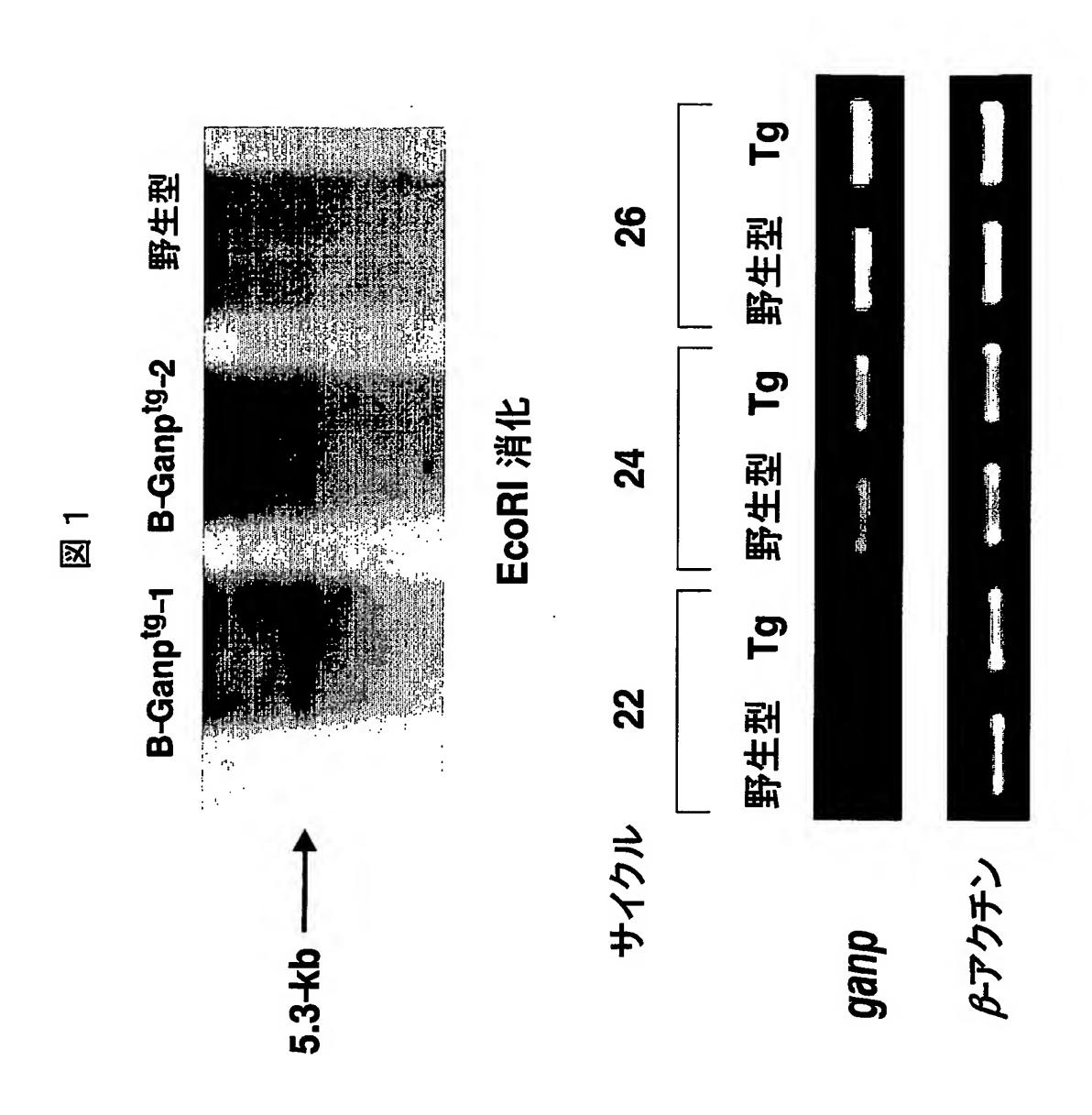
HIV の gp120 糖タンパク質と結合し、かつ、解離定数が KD=1.0×10⁻⁹(M)
 以下の抗体又はその断片。

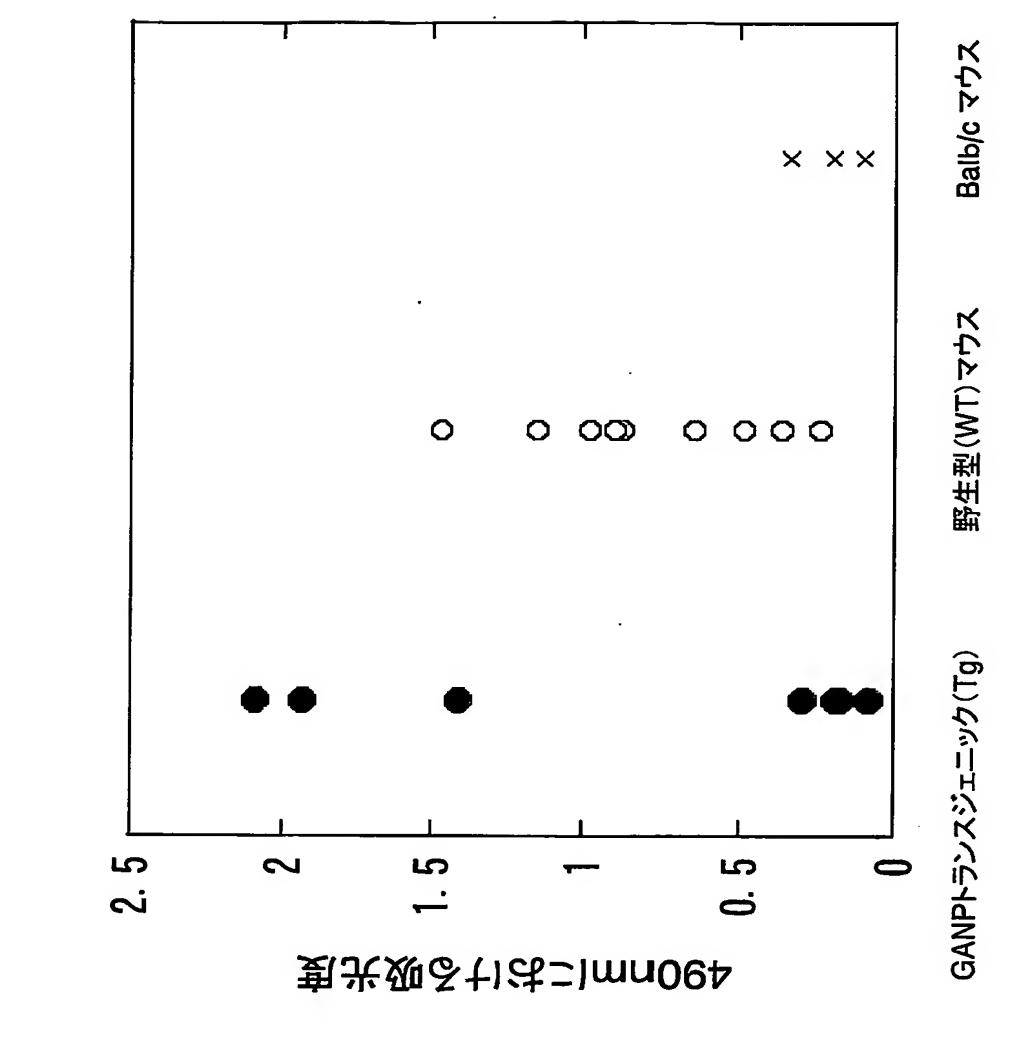
- 5 2.gp120糖タンパク質のうち第308-330番目のアミノ酸配列の少なくとも一部 を認識することができる請求項1記載の抗体又はその断片。
 - 3. 第308-330番目のアミノ酸配列が配列番号6に示されるものである請求項2記載の抗体又はその断片。
- 4. ポリクローナル抗体又はモノクローナル抗体である、請求項1~3のいずれ 10 か1項に記載の抗体又はその断片。
 - 5. 受託番号が FERM BP-08644 であるハイブリドーマ細胞により産生される、 HIV の gp120 糖タンパク質に対するモノクローナル抗体又 はその断片。
 - 6. 請求項4又は5記載の抗体又はその断片のV領域を含む、ヒト型化抗体若しくはヒト抗体又はそれらの断片。
- 15 7.配列番号6に示すアミノ酸配列のうち少なくとも一部を含むポリペプチドを 抗原として免疫した GANP トランスジェニック非ヒト哺乳動物又はその子孫 から採取される、高親和性抗体産生細胞。
 - 8. 受託番号が FERM BP-08644 である、HIV の gp120 糖 タンパク質に対する モノクローナル抗体産生細胞。
- 20 9. GANP トランスジェニック非ヒト哺乳動物又はその子孫を、配列番号6に示すアミノ酸配列のうち少なくとも一部を含むポリペプチドを抗原として免疫し、得られる動物又は子孫から抗体を採取することを特徴とする、抗 HIV 抗体又はその断片の製造方法。
- 10.請求項7記載の細胞とミエローマ細胞との融合細胞、又は請求項8記載の 25 モノクローナル抗体産生細胞を培養し、得られる培養物から抗体を採取することを特徴とする、抗 HIV 抗体又はその断片の製造方法。
 - 11. 請求項1~5のいずれか1項に記載の抗体又はその断片、及び請求項6記

載のヒト型化抗体若しくはヒト抗体又はそれらの断片からなる群から選択される少なくとも1つを含有する医薬組成物。

- 12.後天性免疫不全症候群の治療薬である請求項11記載の医薬組成物。
- 13. 請求項1~5のいずれか1項に記載の抗体若しくはその断片、又は請求項6記載のヒト型化抗体若しくはヒト抗体若しくはそれらの断片と、HIVのgp120糖タンパク質とを反応させることを特徴とするHIVの検出方法。
- 14. 請求項1~5のいずれか1項に記載の抗体又はその断片、及び請求項6記載のヒト型化抗体若しくはヒト抗体又はそれらの断片からなる群から選択される少なくとも1つを含有する HIV 検出用キット。

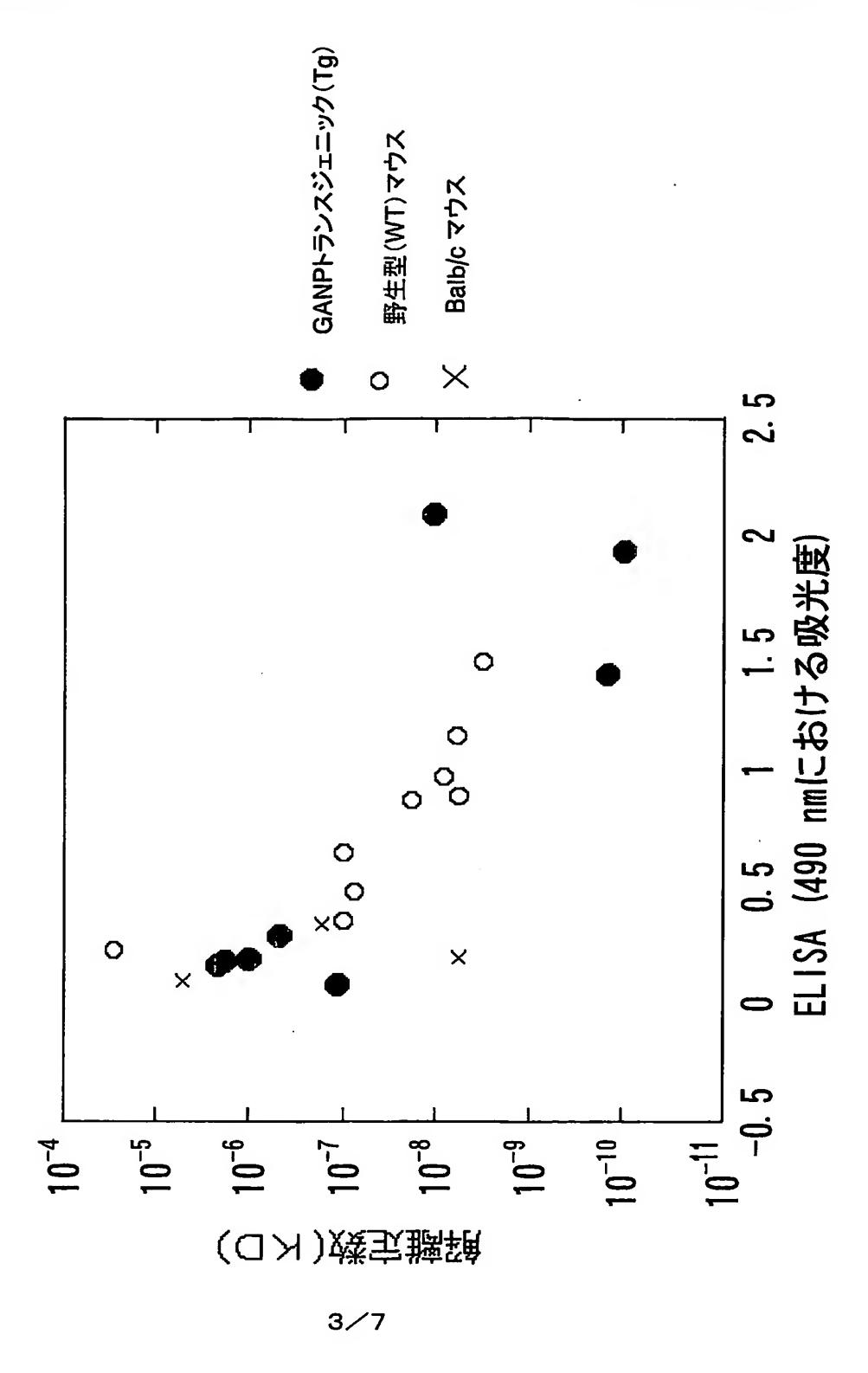
5





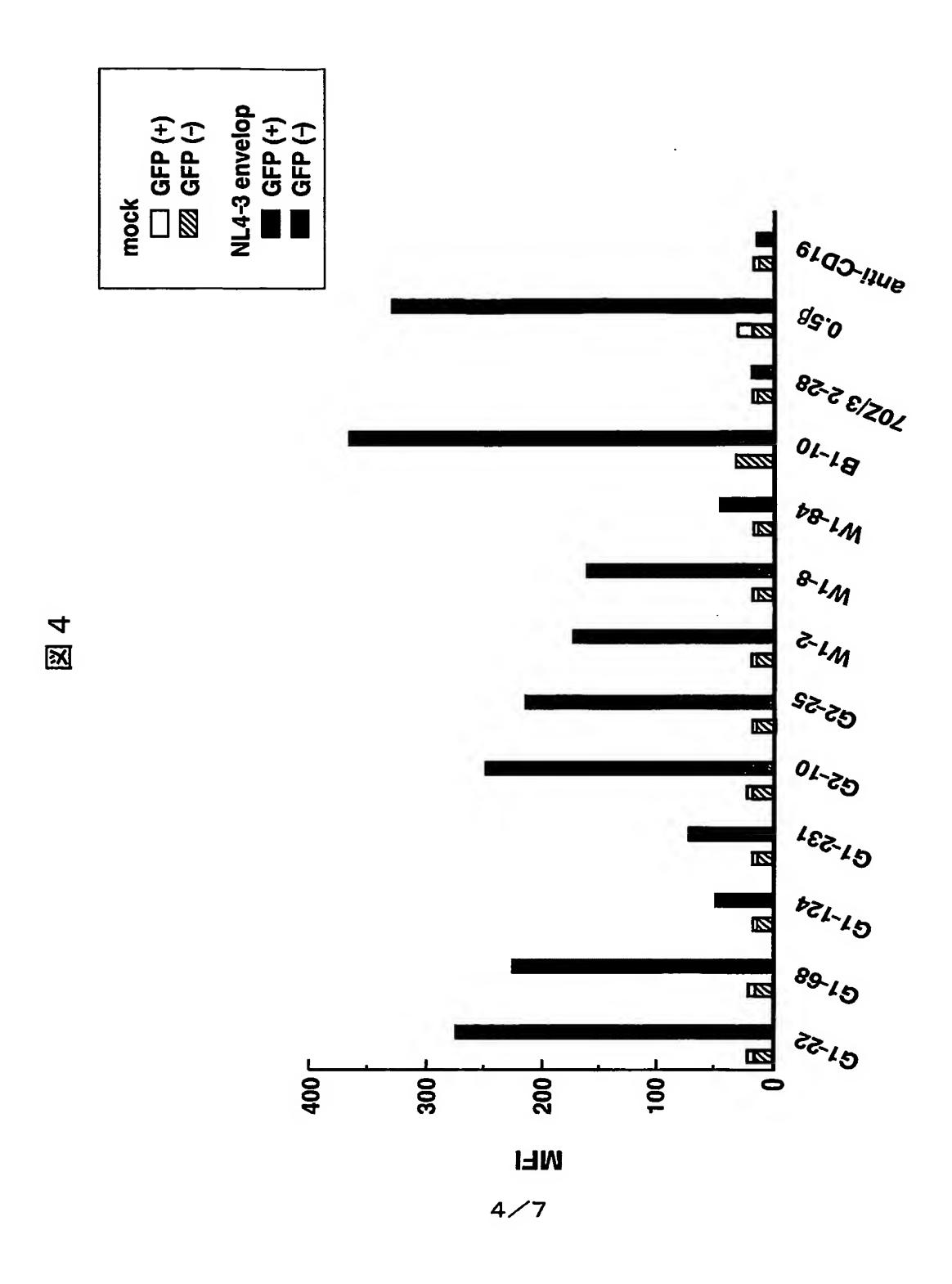
 α

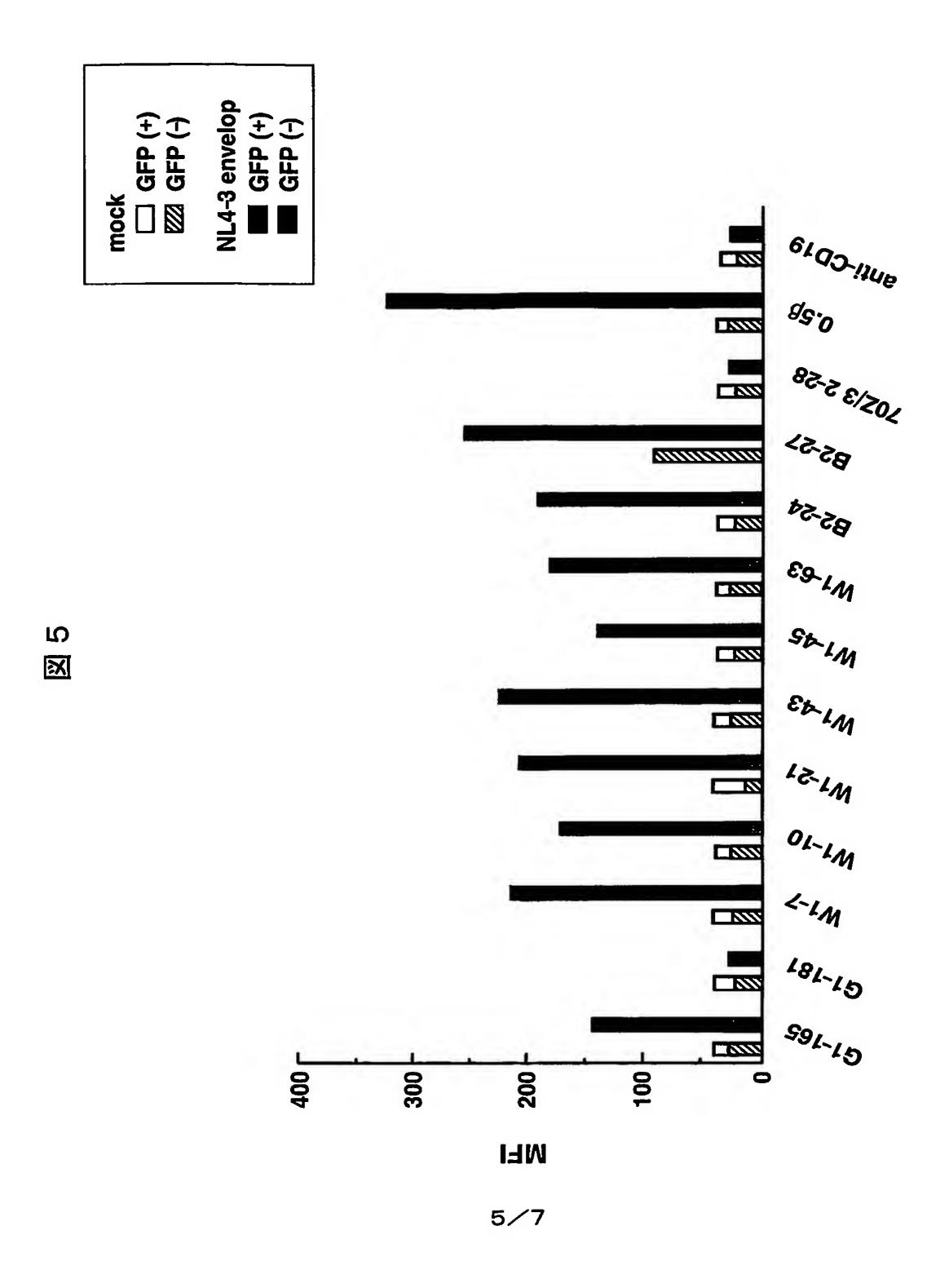
X

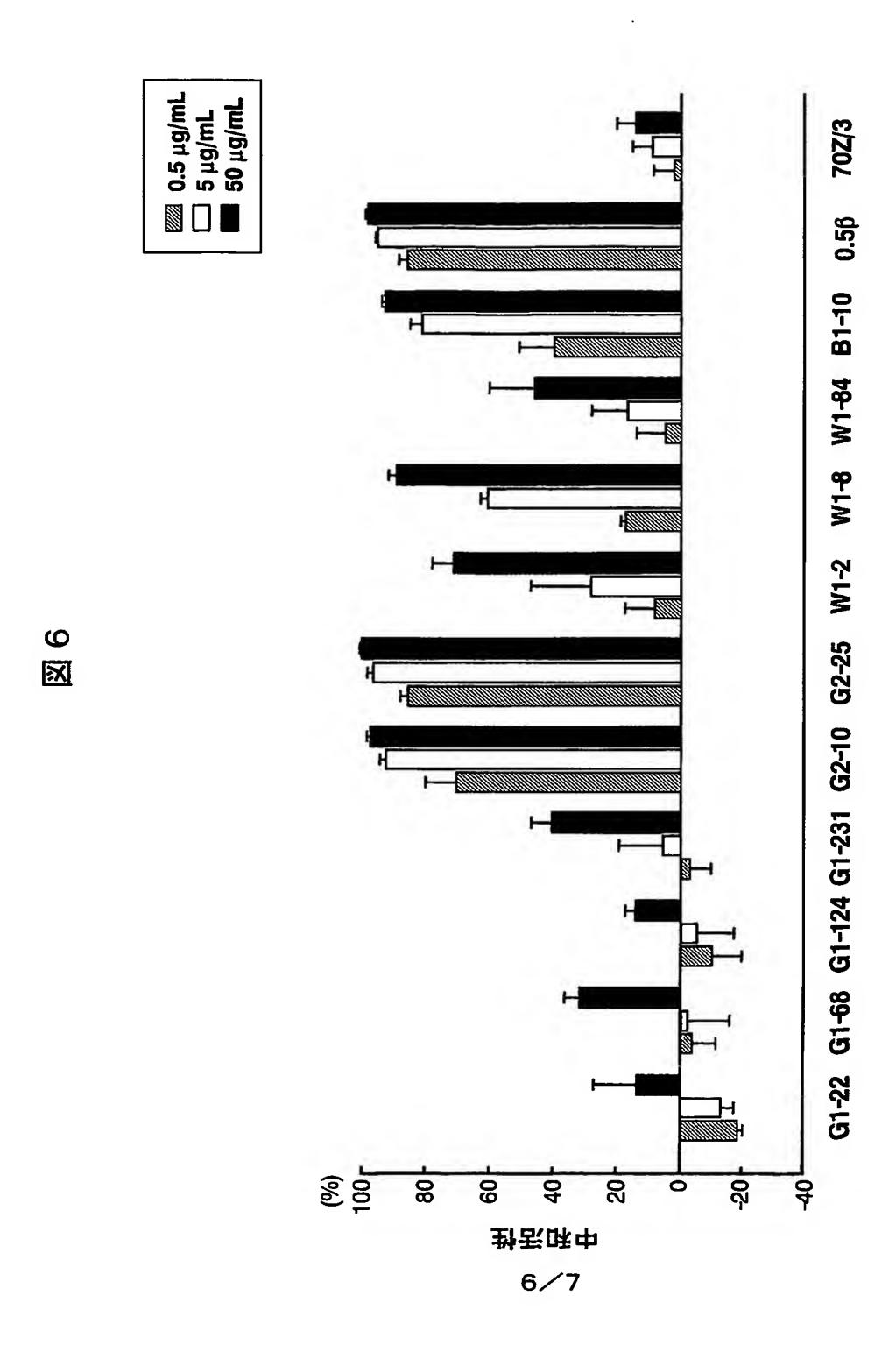


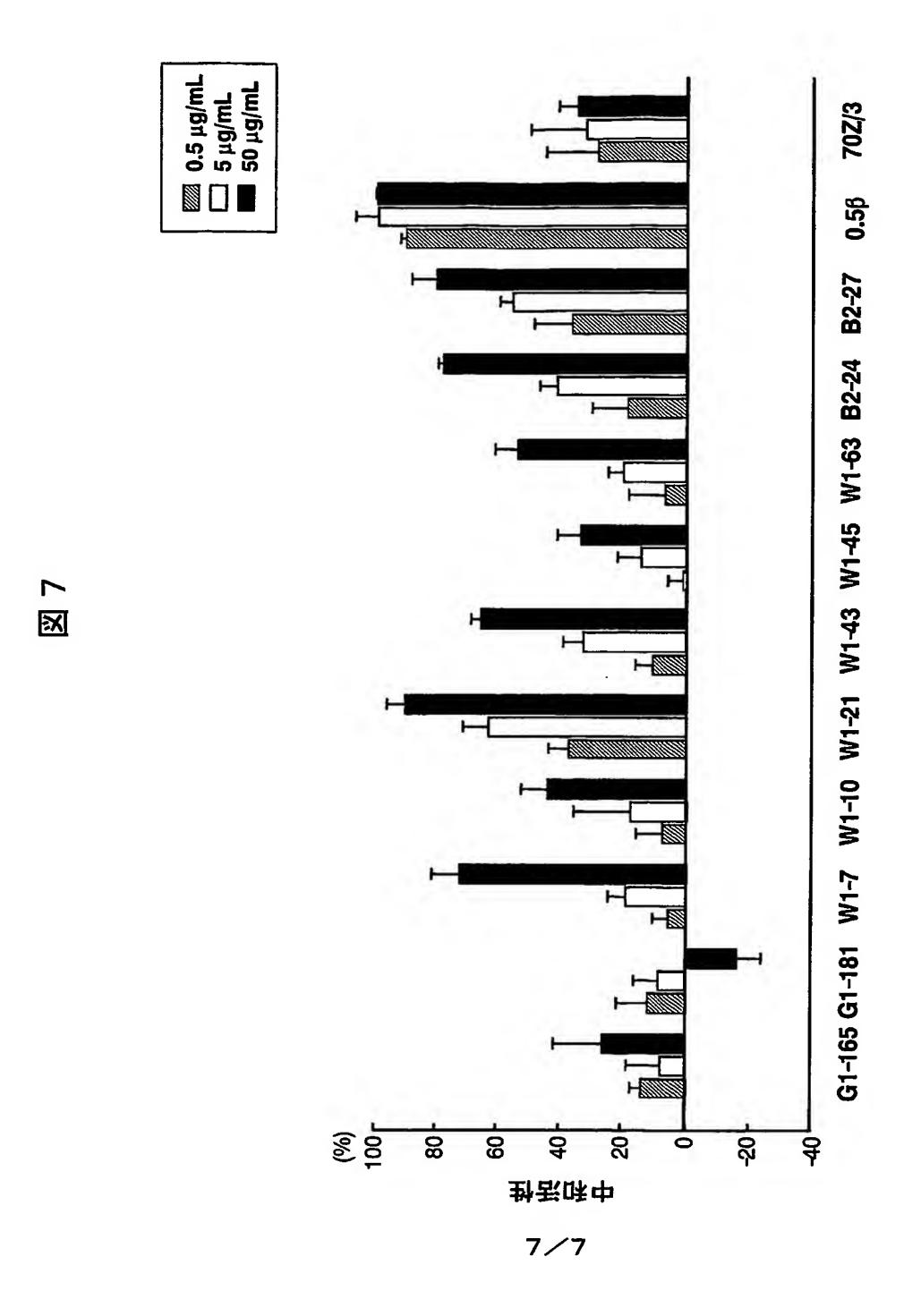
က

X









10/582861 iAP20Rec'd PCT/PTO 14 JUN 2006

WO 2005/058963

PCT/JP2004/003046

SEQUENCE LISTING

<110>	Kumamoto Technology & Industry Foundation	
<120>	anti-HIV antibody .	
<130>	P03-0180 PCT	
<150>	JP 2003-418655	
<151>	2003-12-18	
<160>	9	
<170>	PatentIn version 3.2	
<210>	1	
<211>	6429	
<212>	DNA	
<213>	Mus musclus	
<220>	•	
<221>	CDS	
<222>	(384) (6299)	
<400>	1	
gttgcgg	gtgc ggtgggcccg gtagaggctg cacgcagact gtgggcgagc acaa.gcgctg	60
gcgacag	gtgg ccgtatctgg cggacttgct cctccctccg cggcctccgc tgtcccttgt	120
gtctttg	gccg agttgctgaa ggccttcact agtcttcgct cgaaggcgtc tgttaaccta	180
gcggccg	ggct tccggagtgt taagcatcgg ggataaaaag ctattatttc tagaccaggg	240
catcgca	aagt togagttaco gggagaaaaa tgagatggto atootgagga tgaaggagag	300
cttccc	ctgg caacagataa tttaaagagg agagctactt gtgtatagtc catatttatt	360

gccttcagat aattggcttg aag atg cac ccg gtg aac ccc ttc gga ggc agc Met His Pro Val Asn Pro Phe Gly Gly Ser age cca agt get ttt geg gta tet tee age ace acg gga aca tat cag Ser Pro Ser Ala Phe Ala Val Ser Ser Ser Thr Thr Gly Thr Tyr Gln act aaa tca cca itt cga ttt ggc cag cct tcc cit itt gga cag aac Thr Lys Ser Pro Phe Arg Phe Gly Gln Pro Ser Leu Phe Gly Gln Asn agc aca ccc agc aag agc ctg gcg ttt tca caa gta cca agc ttt gca Ser Thr Pro Ser Lys Ser Leu Ala Phe Ser Gln Val Pro Ser Phe Ala aca ccc tct gga gga agc cat tct tcc tcc ttg cca gca tt t gga ctc Thr Pro Ser Gly Gly Ser His Ser Ser Ser Leu Pro Ala Phe Gly Leu acc caa acc tca agt gtg gga ctc ttc tct agt ctc gaa tcc aca cct Thr Gln Thr Ser Ser Val Gly Leu Phe Ser Ser Leu Glu Ser Thr Pro tet tte gea get act teg agt tee tet gig eee gge aat acg gea tte Ser Phe Ala Ala Thr Ser Ser Ser Ser Val Pro Gly Asn Thr Ala Phe age ttt aag tea ace tet age gtt ggg gtt tte eea agt gge get act Ser Phe Lys Ser Thr Ser Ser Val Gly Val Phe Pro Ser Gly Ala Thr **0** tti ggg cca gaa acc gga gaa gta gca ggt tct ggc ttt cgg aag acg Phe Gly Pro Glu Thr Gly Glu Val Ala Gly Ser Gly Phe Arg Lys Thr gaa ttc aag ttt aaa cct ctg gaa aat gca gtc ttc aaa ccg ata ccg Glu Phe Lys Phe Lys Pro Leu Glu Asn Ala Val Phe Lys Pro Ile Pro

WO 2005/058963

WO 2005/058963

	wo 2	2005/0	58963	3											PCT/JP200	4/003046
cat	tgc	cac	gag	gca	gca	gaa	gac	cct	gat	ccc	ctg	tcc	agg	ggc	gac	1325
His	Cys	His	Glu	Ala	Ala	Glu	Asp	Pro	Asp	Pro	Leu	Ser	Arg	Gly	Asp	
	300					305					310					
cat	ccc	cca	gat	aaa	cgg	cca	gtc	cgc	ctc	aac	aga	ccc	cgg	gga	gg t	1373
His	Pro	Pro	Asp	Lys	Arg	Pro	Val	Arg	Leu	Asn	Arg	Pro	Arg	Gly	Gly	
315					320					325					330	
	_		<u> </u>												gag	1421
Thr	Leu	Phe	Gly		Thr	He	Gln	Glu		Phe	Lys	Ser	Asn		Gl u	
				335					340					345		
				~~^	0.00	005	700	+ 0 0	000	30 3	o a t		+++	a 0 a	70.0	1469
															ga a	1403
Ala	Gly	AIR	350	GIA	361	L y S	Giu	355	T A 2	Gin	261	diy	360	ліа	Gl u	
			990					900					000			
cct	2 22	gaa	agt	gac	cac	gcg	gcc	gtc	cca	gga	ggg	agt	cag	tcc	acc	1517
															Thr	
		365		••			370				•	375				
atg	gta	cct	tcc	cgc	ctt	cca	gct	gtg	act	aaa	gag	gaa	gaa	gaa	agt	1565
Met	Val	Pro	Ser	Arg	Leu	Pro	Ala	Val	Thr	Lys	Glu	Glu	Glu	Glu	Se r	
	380					385					390					
aga	gat	gag	aaa	gaa	gat	tct	ctc	agg	gga	aag	tct	gtg	cgc	cag	agt	1613
	Asp	Glu	Lys	Glu		Ser	Leu	Arg	Gly		Ser	Val	Arg	Gln	Ser	
395					400					405					410	
					.	_ 4 _				~~~	~~~	~ t ~		+ 0 +	++ 0	1661
													_		tta	1661
LyS	AIR	MIR	GIU	415	111	116	1 9 1	261	420	GIY	Gly	741	261	425	Leu	
				-11 U					7 U U					140		
gag	ctc	aca	gcc	atc	cag	tgc	aag	aac	atc	ccc	gac	tac	ctc	aac	gac	1709
															Asp	
			430			-	-	435			-		440			
aga	gcc	atc	ctg	gag	aaa	cac	ttc	agc	aaa	atc	gct	aaa	gtc	cag	cgg	1757
Arg	Ala	Ile	Leu	Glu	Lys	His	Phe	Ser	Lys	Ile	Ala	Lys	Val	Gln	Arg	

	WU	2003/(13070	,										•	r C I/Jr	2004/00304
		445					450					455				
gtc	ttc	acc	aga	cgc	agc	aag	aag	ctc	gcc	gtg	att	cat	ttt	ttc	gac	1805
Val	Phe 460		Arg	Arg	Ser	Lys 465	Lys	Leu	Ala	Val	Ile 470	His	Phe	Phe	Asp	
												ggt				1853
His 475		Ser	Ala	Ala	Leu 480		Arg	Lys	Lys	Gly 485	Lys	Gly	Leu	His	Lys 490	
				Phe					Lys			ccc Pro		Lys		1901
e t e	+ + +	ccc	eta	495	σοσ	220	ett	aat	500	a or t	ora a	gcc	nae	505	aae	1949
												Ala				1343
								·				aag Lys 535				1997
												cca Pro				2045
												cct Pro				2093
												tca Ser				2141
												aag Lys				2189

WO 2005/058963

PCT/JP2004/003046 WO 2005/058963 ctg gac cag aga gac cgc atc atg cgg caa gct cga gtg aag agg acg Leu Asp Gln Arg Asp Arg Ile Met Arg Gln Ala Arg Val Lys Arg Thr gac ctg gac aaa gcc agg gca ttt gtt ggg act tgc cct gac atg tgt Asp Leu Asp Lys Ala Arg Ala Phe Val Gly Thr Cys Pro Asp Met Cys ccc gag aag gag cgg tac ttg agg gag acc cgg agc cag ctg agc gtg Pro Glu Lys Glu Arg Tyr Leu Arg Glu Thr Arg Ser Gln Leu Ser Val ttt gaa gtt gtc cca ggg act gac cag gtg gac cat gca gca gcc gtg Phe Glu Val Val Pro Gly Thr Asp Gln Val Asp His Ala Ala Ala Val aag gag tac agc cgg tcc tct gca gat cag gag gag ccc ctg cca cat Lys Glu Tyr Ser Arg Ser Ser Ala Asp Gln Glu Glu Pro Leu Pro His gag ctg aga ccc tca gca gtt ctc agc agg acc atg gac tac ctg gtg Glu Leu Arg Pro Ser Ala Val Leu Ser Arg Thr Met Asp Tyr Leu Val acc cag atc atg gac caa aag gaa ggc agc ctt cgg gat tgg tat gac Thr Gln Ile Met Asp Gln Lys Glu Gly Ser Leu Arg Asp Trp Tyr Asp ttc gtg tgg aac cgc acc cgg ggt ata cgg aag gac ata aca cag cag Phe Val Trp Asn Arg Thr Arg Gly Ile Arg Lys Asp Ile Thr Gln Gln cac ctc tgt gat ccc ctg acg gtg tct ctg atc gag aag tgt acc cga His Leu Cys Asp Pro Leu Thr Val Ser Leu Ile Glu Lys Cys Thr Arg ttt cac att cac tgt gcc cac ttt atg tgt gag gag cct atg tct tcc Phe His Ile His Cys Ala His Phe Met Cys Glu Glu Pro Met Ser Ser

gtc ttc ccc ctg gat ggt gtc gtc cgc atg ctg ctg ttc aga gat agt

Val Phe Pro Leu Asp Gly Val Val Arg Met Leu Leu Phe Arg Asp Ser

gaa gag gcg aca aac ttc ctc aat tac cat ggc ctc act gta gct gat Glu Glu Ala Thr Asn Phe Leu Asn Tyr His Gly Leu Thr Val Ala Asp ggc tgt git gag ctg aat cgg tcg gca ttc ttg gaa ccg gag gga tta Gly Cys Val Glu Leu Asn Arg Ser Ala Phe Leu Glu Pro Glu Gly Leu tgc aag gcc agg aag tca gtg ttt att ggc cgg aag ctg acg gtg tca Cys Lys Ala Arg Lys Ser Val Phe Ile Gly Arg Lys Leu Thr Val Ser gtt ggg gaa gtt gtg aat gga ggg ccg ttg ccc cct gtt cct cgc cat Val Gly Glu Val Val Asn Gly Gly Pro Leu Pro Pro Val Pro Arg His aca cct gtg tgc agc ttc aac tcc cag aat aag tac gtt gga gag agc Thr Pro Val Cys Ser Phe Asn Ser Gln Asn Lys Tyr Val Gly Glu Ser ctg gct acg gag ctg ccc atc agc act cag aga gct ggt gga gac cca Leu Ala Thr Glu Leu Pro Ile Ser Thr Gln Arg Ala Gly Gly Asp Pro gca ggt ggt ggc aga gga gag gac tgt gag gca gag gtg gac ttg Ala Gly Gly Gly Arg Gly Glu Asp Cys Glu Ala Glu Val Asp Leu cca aca tig gcg gtc ctc cca cag ccg cct cct gca tcc tca gcc Pro Thr Leu Ala Val Leu Pro Gln Pro Pro Pro Ala Ser Ser Ala acg ccg gcg ctt cat gtc cag cca ctg gcc cca gcc gca gca ccc Thr Pro Ala Leu His Val Gln Pro Leu Ala Pro Ala Ala Ala Pro age ett etc eag gee tec acg eag ect gag gtg etg ett eca aag Ser Leu Leu Gln Ala Ser Thr Gln Pro Glu Val Leu Leu Pro Lys

WO 2005/058963

	1050					1055					106 0			
											gtg Val 1075			3614
											gaa Glu 1090			3659
											gtt Val 1105			3704
							Ala	Ala	Thr		ggc Gly 1120		-	3749
					Glu						cag Gln 1135			3794
							Glu	Glu	Arg		aag Lys 1150			3839
Glu		Met	Leu	Thr	Gln	Leu	Ser	Glu	Gly	Leu	gcc Ala 1165	Ala		3884
							Cys				acc Thr 1180			3929
											gtc Val 1195			3974

	wo	2005/0	58963	;										PCT/	JP2004/003046
gco	cgo	tgt	tgi	gaa	gco	gto	tgt	gca	cac	cte	ggtg	gat	ttg	ttt	4019
Ala	Arg	g Cys	Cys	Glu	ı Ala	ı Val	Cys	Ala	His	Lei	ı Val	Asp	Leu	Phe	
		1200)				1205	5				1210			
ctt	gci	gag	gaa	att	tto	cag	act	gca	aaa	gag	s aca	ctc	cag	gaa	4064
Leu	Ala	Glu	Glu	Ile	Phe	Gln	Thr	Ala	Lys	Glu	Thr	Leu	Gln	Glu	
		1215)				1220)				1225			
	•														
		tgt													4109
Leu	Gln	Cys		Cys	Lys	Tyr	Leu	Gln	Arg	Trp	Arg	Glu	Ala	Val	
		1230					1235	i				1240			
	,														
		cgg													4154
Ага	Ala	Arg		Lys	Pne	Arg			Met	Arg	Ala			Ala	
		1245					1250					1255			
ወሶወ	cca	tor	tot	a ta	σa t	ata	a a t	Gr. o	0.00	a t a	0.00	700			4100
		tgc Cys													4199
		1260		,	пор	741	1265		AIS	Leu	GIII	1270		Val	
		1200					1000					1210			
ccc	agc	gca	gag	tgc	ccc	att	act	gag	gag	aac	ctg	gcc	aag	ggt	4244
		Ala													•••
		1275					1280					1285			
ctt	ttg	gac	ctg	ggc	cac	gca	ggc	aaa	gta	ggc	gtc	tcc	tgt	acc	4289
Leu	Leu	Asp	Leu	Gly	His	Ala	Gly	Lys	Val	Gly	Val	Ser	Cys	Thr	
		1290					1295					1300			
		agg													4334
Arg	Leu	Arg	Arg	Leu	Arg	Asn		Thr	Ala	His	Gln	Ile	Lys	Val	
		1305					1310					1315			
		11.											•		•
		ttc													4379
GIII	пт2	Phe	nıs	GIN	GIII	Leu		Arg	Asn	Ala	Ala		Ala	Pro	
		1320					1325					1330			
ctg	gar	ctø	CCS	tee	g † †	gia	tet	0.2 0	000	c t c	000	o + ~	007	000	A A D A
		ctg Leu													4424
_ ~ u	p	20 u		JU1	116	1 4 1	DCI	O 1 fi	1112	PCI	110	mel	Гλ2	Q I II	

	1335	1340)	1345	
Lys Arg			ctg gtg itg cct Leu Val Leu Pro		4469
Glu Gln			aga ata cta gaa Arg Ile Leu Glu		4514
Lys Val l			agc atg gtg ggt Ser Met Val Gly		4559
Asp Asn A			ctc tca gtc ttt Leu Ser Val Phe		4604
Ser Ser I			tct gtc aac gtg Ser Val Asn Val		4649
Val Ala I			agt gcc ctt gat Ser Ala Leu Asp		4694
Thṛ Gln I			agt ggg ctc atg Ser Gly Leu Met		4739
Pro Pro I			gtg gca gag gag Val Ala Glu Glu		4784
Trp Leu S			aag cag ctt ctg Lys Gln Leu Leu		4829

	wo 2	2005/05	8963							PCT/JP2004	1/003046
		_		_					ccc Pro 1495		4874
									ctg Leu 1510		4919
									att İle 1525		4964
									gtg Val 1540		5009
									caa Gln 1555		5054
-		_	_						gat Asp 1570		5099
									aga Arg 1585		5144
									att Ile 1600		5189
				_	_		_		gta Val 1615		5234
		_							ttt Phe		5279

	1620			1625			1630			
			_				aac Asn 1645		<u>\</u>	5324
			_				ttc Phe 1660	_		5369
							ctc Leu 1675			5414
							agc Ser 1690			5459
							ctg Leu 1705			5504
							cca Pro 1720			5549
							gac Asp 1735			5594
•	_						ccc Pro 1750			5639
				ctg Leu 1760			caa Gln 1765	ata Ile	_	5684

	wo	2005/05	58963											PCT/JP	2004/003046
gtg	tat	tti	ttc	aaa	aac	ctt	tta	aga	aaa	tac	cac	gtt	ccc	tcg	5729
Val	Tyr	Phe	Phe	Lys	Asn	Leu	Leu	Arg	Lys	Tyr	His	Val	Pro	Ser	
		1770					1775					1780			
tca	tgg	gaa	cag	gcc	aga	atg	cag	acg	cag	cgg	gaa	ctg	cag	ctg	5774
Ser	Trp	Glu	Gln	Ala	Arg	Met	Gln	Thr	Gln	Arg	G1 u	Leu	Gln	Leu	
		1785					1790					1795			
							agg								5819
Ser	His	Gly	Arg	Ser	Gly	Met	Arg	Ser	Ile	His	Pro		Thr	Ser	
		1800					1805					1810			
															FOCA
							cat								5864
Thr	Phe		Thr	Pro	Leu	Leu	His	val	HIS	GIN	LYS		Lys	LyS	
		1815					1820					1825			
			a m 1		0.00	GO G	a a a	0.00	c t c	agt	202	ന മ ഗ്	ወያሮ	ctc	5909
_	_	gag					ggg Gly								0000
Lys	GIU	1830	361	GIY	Aig	GIU	1835	261	LCu	561	* ***	1840			
		1000					1000					7010			
ctg	cgg	ggg	gct	tct	gca	gaa	gag	ctc	ctg	gca	cag	agt	ctg	tcc	5954
							Glu								
		1845					1850					1855			
agc	agt	ctt	ctg	gaa	gag	aag	gaa	gag	aac	aag	agg	ttt	gaa	gat	5999
Ser	Ser	Leu	Leu	Glu	Glu	Lys	Glu	Glu	Asn	Lys	Arg	Phe	Glu	Asp	•
		1860					1865					1870			
							caa								6044
Gln	Leu	Gln	Gln	Trp	Leu	Ser	Gln	Asp	Ser	Gln	Ala			Glu	
		1875					1880					1885			
						•	•					_+_	+	1 1 1	6000
							ctc								6089
Ser	lhr			rro	reu	1 y r	Leu 1895		UII	1111	ьeu	1900		THE	
		1890					1021					1900			
o o t	nr n t	tet	a t c	222	art	ሮ ል ፓ	acc	atσ	gtø	ลลล	ася	tet	aca	agt	6134
							Thr								- - • •
110	чэħ	061	110	n 2 9	1111	4 1 11	4 11 1	10 C		ں ر <i>ہے</i>	~ ~ ^	~ ~ .	, a. a.		

WO 2005/058963		PCT/JP2004/003046
1905	1910	1915
cct cag aat tca gga aca gga Pro Gln Asn Ser Gly Thr Gly 1920	Lys Gln Leu Arg Phe	
tcc ggt tca tcc ctg acg gaa Ser Gly Ser Ser Leu Thr Glu 1935	Lys Leu Lys Leu Leu	
atc cag agc tca agg gcg gaa Ile Gln Ser Ser Arg Ala Glu 1950		
tct gca ctg ctg gag atg gtg Ser Ala Leu Leu Glu Met Val 1965		cg ggagacggat 6319
ctctaattca taatgctttg tctgta	ttca attgtgttat agatgc	tgtt ggaaatgtga 6379
ctattaatta tgcaaataaa ctttt	gaat cattccaaaa aaaaaa	ccat 6429
<210> 2		
<211> 1971		
<212> PRT <213> Mus musclus		
		•
<400> 2		
Met His Pro Val Asn Pro Phe 1 5	Gly Gly Ser Ser Pro Se 10	r Ala Phe Ala 15
Val Ser Ser Ser Thr Thr Gly 20	Thr Tyr Gln Thr Lys Se 25	r Pro Phe Arg 30

WO 2005/058963	PCT/JP2004/003046
----------------	-------------------

Phe	Gly	Gln	Pro	Ser	Leu	Phe	Gly	Gln	Asn	Ser	Thr	Pro	Ser	Lys	Ser
		35					40					45			

- Leu Ala Phe Ser Gln Val Pro Ser Phe Ala Thr Pro Ser Gly Gly Ser 50 55 60
- His Ser Ser Ser Leu Pro Ala Phe Gly Leu Thr Gln Thr Ser Ser Val
 65 70 75 80
- Gly Leu Phe Ser Ser Leu Glu Ser Thr Pro Ser Phe Ala Ala Thr Ser 85 90 95
- Ser Ser Ser Val Pro Gly Asn Thr Ala Phe Ser Phe Lys Ser Thr Ser 100 105 110
- Ser Val Gly Val Phe Pro Ser Gly Ala Thr Phe Gly Pro Glu Thr Gly 115 120 125
- Glu Val Ala Gly Ser Gly Phe Arg Lys Thr Glu Phe Lys Phe Lys Pro 130 135 140
- Leu Glu Asn Ala Val Phe Lys Pro Ile Pro Gly Pro Glu Ser Glu Pro 145 150 155 160
- Glu Lys Thr Gln Ser Gln Ile Ser Ser Gly Phe Phe Thr Phe Ser His 165 170 175
- Pro Val Gly Ser Gly Ser Gly Gly Leu Thr Pro Phe Ser Phe Pro Gln
 180 185 190

Val	Thr	Asn	Ser	Ser	Val	Thr	Ser	Ser	Ser	Phe	Ile	Phe	Ser	Lys	Pro
		195					200					205			

- Val Thr Ser Asn Thr Pro Ala Phe Ala Ser Pro Leu Ser Asn Gln Asn 210 215 220
- Val Glu Glu Lys Arg Val Ser Thr Ser Ala Phe Gly Ser Ser Asn 225 230 235 240
- Ser Ser Phe Ser Thr Phe Pro Thr Ala Ser Pro Gly Ser Leu Gly Glu 245 250 255
- Pro Phe Pro Ala Asn Lys Pro Ser Leu Arg Gln Gly Cys Glu Glu Ala 260 265 270
- Ile Ser Gln Val Glu Pro Leu Pro Thr Leu Met Lys Gly Leu Lys Arg 275 280 285
- Lys Glu Asp Gln Asp Arg Ser Pro Arg Arg His Cys His Glu Ala Ala 290 295 300
- Glu Asp Pro Asp Pro Leu Ser Arg Gly Asp His Pro Pro Asp Lys Arg 305 310 310 315 320
- Pro Val Arg Leu Asn Arg Pro Arg Gly Gly Thr Leu Phe Gly Arg Thr 325 330 335

Ile Gln Glu Val Phe Lys Ser Asn Lys Glu Ala Gly Arg Leu Gly Ser 340 345 350

Lys Glu Ser Lys Glu Ser Gly Phe Ala Glu Pro Gly Glu Ser Asp His 355 360 365

Ala Ala Val Pro Gly Gly Ser Gln Ser Thr Met Val Pro Ser Arg Leu 370 375 380

Pro Ala Val Thr Lys Glu Glu Glu Glu Ser Arg Asp Glu Lys Glu Asp 385 390 395 400

Ser Leu Arg Gly Lys Ser Val Arg Gln Ser Lys Arg Arg Glu Glu Trp
405 410 415

Ile Tyr Ser Leu Gly Gly Val Ser Ser Leu Glu Leu Thr Ala Ile Gln
420 425 430

Cys Lys Asn Ile Pro Asp Tyr Leu Asn Asp Arg Ala Ile Leu Glu Lys
435
440
445

His Phe Ser Lys Ile Ala Lys Val Gln Arg Val Phe Thr Arg Arg Ser 450 455 460

Lys Lys Leu Ala Val Ile His Phe Phe Asp His Ala Ser Ala Ala Leu 465 470 480

Ala Arg Lys Lys Gly Leu His Lys Asp Val Val Ile Phe Trp
485 490 495

18/64

His Lys Lys Lys Ile Ser Pro Ser Lys Lys Leu Phe Pro Leu Lys Glu 500 505 510

- Lys Leu Gly Glu Ser Glu Ala Ser Gln Gly Ile Glu Asp Ser Pro Phe 515 520 525 .
- Gln His Ser Pro Leu Ser Lys Pro Ile Val Arg Pro Ala Ala Gly Ser 530 535 540
- Leu Leu Ser Lys Ser Ser Pro Val Lys Lys Pro Ser Leu Leu Lys Met 545 550 550 560
- His Gln Phe Glu Ala Asp Pro Phe Asp Ser Gly Ser Glu Gly Ser Glu 575
- Gly Leu Gly Ser Cys Val Ser Ser Leu Ser Thr Leu Ile Gly Thr Val 580 585 590
- Ala Asp Thr Ser Glu Glu Lys Tyr Arg Leu Leu Asp Gln Arg Asp Arg 595 600 605
- Ile Met Arg Gln Ala Arg Val Lys Arg Thr Asp Leu Asp Lys Ala Arg 610 620
- Ala Phe Val Gly Thr Cys Pro Asp Met Cys Pro Glu Lys Glu Arg Tyr 625 630 635 635

Leu Arg Glu Thr Arg Ser Gln Leu Ser Val Phe Glu Val Val Pro Gly 645 650 655

Thr Asp Gln Val Asp His Ala Ala Ala Val Lys Glu Tyr Ser Arg Ser 660 670

Ser Ala Asp Gln Glu Glu Pro Leu Pro His Glu Leu Arg Pro Ser Ala 675 680 685

Val Leu Ser Arg Thr Met Asp Tyr Leu Val Thr Gln Ile Met Asp Gln 690 695 700

Lys Glu Gly Ser Leu Arg Asp Trp Tyr Asp Phe Val Trp Asn Arg Thr 705 710 715 720

Arg Gly Ile Arg Lys Asp Ile Thr Gln Gln His Leu Cys Asp Pro Leu 725 730 735

Thr Val Ser Leu Ile Glu Lys Cys Thr Arg Phe His Ile His Cys Ala 740 745 750

His Phe Met Cys Glu Glu Pro Met Ser Ser Phe Asp Ala Lys Ile Asn 755 760 765

Asn Glu Asn Met Thr Lys Cys Leu Gln Ser Leu Lys Glu Met Tyr Gln 770 780

Asp Leu Arg Asn Lys Gly Val Phe Cys Ala Ser Glu Ala Glu Phe Gln 785 790 795 800

Gly	Tyr	Asn	Val	Leu	Leu	Asn	Leu	Asn	Lys	Gly	Asp	Ile	Leu	Arg	Glu
				805					810					815	

- Val Gln Gln Phe His Pro Asp Val Arg Asn Ser Pro Glu Val Asn Phe 820 825 830
- Ala Val Gln Ala Phe Ala Ala Leu Asn Ser Asn Asn Phe Val Arg Phe 835 840 845
- Phe Lys Leu Val Gln Ser Ala Ser Tyr Leu Asn Ala Cys Leu Leu His 850 855 860
- Cys Tyr Phe Asn Gln Ile Arg Lys Asp Ala Leu Arg Ala Leu Asn Val 865 870 880
- Ala Tyr Thr Val Ser Thr Gln Arg Ser Thr Val Phe Pro Leu Asp Gly 885 890 895
- Val Val Arg Met Leu Leu Phe Arg Asp Ser Glu Glu Ala Thr Asn Phe 900 905 910
- Leu Asn Tyr His Gly Leu Thr Val Ala Asp Gly Cys Val Glu Leu Asn 915 920 925
- Arg Ser Ala Phe Leu Glu Pro Glu Gly Leu Cys Lys Ala Arg Lys Ser 930 935 940

WO 2005/058963	PCT/JP2004/003046
----------------	-------------------

Val Phe Ile Gly Arg Lys Leu Thr Val Ser Val Gly Glu Val Val Asn 945 950 955 960

- Gly Gly Pro Leu Pro Pro Val Pro Arg His Thr Pro Val Cys Ser Phe 965 970 975
- Asn Ser Gln Asn Lys Tyr Val Gly Glu Ser Leu Ala Thr Glu Leu Pro 980 985 990
- Ile Ser Thr Gln Arg Ala Gly Gly Asp Pro Ala Gly Gly Gly Arg Gly 995 1000 1005
- Glu Asp Cys Glu Ala Glu Val Asp Leu Pro Thr Leu Ala Val Leu 1010 1015 1020
- Pro Gln Pro Pro Pro Ala Ser Ser Ala Thr Pro Ala Leu His Val 1025 1030 1035
- Gln Pro Leu Ala Pro Ala Ala Ala Pro Ser Leu Leu Gln Ala Ser 1040 1045 1050
- Thr Gln Pro Glu Val Leu Leu Pro Lys Pro Ala Pro Val Tyr Ser 1055 1060 1065
- Asp Ser Asp Leu Val Gln Val Val Asp Glu Leu Ile Gln Glu Ala 1070 1075 1080
- Leu Gln Val Asp Cys Glu Glu Val Ser Ser Ala Gly Ala Ala Tyr 1085 1090 1095

Val	Ala	Ala	Ala	Leu	Gly	Val	Ser	Asn	Ala	Ala	Val	Glu	Asp	Leu
	1100					1105	5				1110			

- Glu Val Ser Met Glu Arg Gln Arg Leu Glu Glu Glu Lys Gln Arg 1130 1135 1140
- Ala Glu Glu Arg Leu Lys Gln Glu Arg Glu Leu Met Leu Thr 1145 1150 1155
- Gln Leu Ser Glu Gly Leu Ala Ala Glu Leu Thr Glu Leu Thr Val 1160 1165 1170
- Thr Glu Cys Val Trp Glu Thr Cys Ser Gln Glu Leu Gln Ser Ala 1175 1180 1185
- Val Lys Ile Asp Gln Lys Val Arg Val Ala Arg Cys Cys Glu Ala 1190 1195 1200
- Val Cys Ala His Leu Val Asp Leu Phe Leu Ala Glu Glu Ile Phe 1205 1210 1215
- Gln Thr Ala Lys Glu Thr Leu Gln Glu Leu Gln Cys Phe Cys Lys 1220 1225 1230

Tyr Leu Gln Arg Trp Arg Glu Ala Val Ala Ala Arg Lys Lys Phe 1235 1240 1245

- Arg Arg Gln Met Arg Ala Phe Pro Ala Ala Pro Cys Cys Val Asp 1250 1255 1260
- Val Asn Asp Arg Leu Gln Ala Leu Val Pro Ser Ala Glu Cys Pro 1265 1270 1275
- Ile Thr Glu Glu Asn Leu Ala Lys Gly Leu Leu Asp Leu Gly His 1280 1285 1290
- Ala Gly Lys Val Gly Val Ser Cys Thr Arg Leu Arg Arg Leu Arg 1295 1300 1305
- Asn Lys Thr Ala His Gln Ile Lys Val Gln His Phe His Gln Gln 1310 1315 1320
- Leu Leu Arg Asn Ala Ala Trp Ala Pro Leu Asp Leu Pro Ser Ile 1325 1330 1335
- Val Ser Glu His Leu Pro Met Lys Gln Lys Arg Arg Phe Trp Lys 1340 1345 1350
- Leu Val Leu Val Leu Pro Asp Val Glu Glu Gln Thr Pro Glu Ser 1355 1360 1365
- Pro Gly Arg Ile Leu Glu Asn Trp Leu Lys Val Lys Phe Thr Gly 1370 1375

Asp Asp Ser Met Val Gly Asp Ile Gly Asp Asn Ala Gly Asp Ile 1385 1390 1395

- Gln Thr Leu Ser Val Phe Asn Thr Leu Ser Ser Lys Gly Asp Gln 1400 1405 1410
- Thr Val Ser Val Asn Val Cys Ile Lys Val Ala His Gly Thr Leu 1415 1420 1425
- Ser Asp Ser Ala Leu Asp Ala Val Glu Thr Gln Lys Asp Leu Leu 1430 1435 1440
- Gly Thr Ser Gly Leu Met Leu Leu Leu Pro Pro Lys Val Lys Ser 1445 1450 1455
- Glu Glu Val Ala Glu Glu Glu Leu Ser Trp Leu Ser Ala Leu Leu 1460 1470
- Gln Leu Lys Gln Leu Leu Gln Ala Lys Pro Phe Gln Pro Ala Leu 1475 1480 1485
- Pro Leu Val Val Leu Val Pro Ser Ser Arg Gly Asp Ser Ala Gly 1490 1495 1500
- Arg Ala Val Glu Asp Gly Leu Met Leu Gln Asp Leu Val Ser Ala 1505 1510 1515

Lys Leu Ile Ser Asp Tyr Ile Val Val Glu Ile Pro Asp Ser Val 1520 1530

- Asn Asp Leu Gln Gly Thr Val Lys Val Ser Gly Ala Val Gln Trp 1535 1540 1545
- Leu Ile Ser Gly Cys Pro Gln Ala Leu Asp Leu Cys Cys Gln Thr 1550 1560
- Leu Val Gln Tyr Val Glu Asp Gly Ile Ser Arg Glu Phe Ser Arg 1565 1570 1575
- Arg Phe Phe His Asp Arg Arg Glu Arg Arg Leu Ala Ser Leu Pro 1580 1585 1590
- Ser Gln Glu Pro Ser Thr Ile Ile Glu Leu Phe Asn Ser Val Leu 1595 1600 1605
- Gln Phe Leu Ala Ser Val Val Ser Ser Glu Gln Leu Cys Asp Ile 1610 1620
- Ser Trp Pro Val Met Glu Phe Ala Glu Val Gly Gly Ser Gln Leu 1625 1630 1635
- Leu Pro His Leu His Trp Asn Ser Pro Glu His Leu Ala Trp Leu 1640 1650
- Lys Gln Ala Val Leu Gly Phe Gln Leu Pro Gln Met Asp Leu Pro 1655 1660 1665

- Pro Pro Gly Ala Pro Trp Leu Pro Val Cys Ser Met Val Ile Gln 1670 1675 1680
- Tyr Thr Ser Gln Ile Pro Ser Ser Ser Gln Thr Gln Pro Val Leu 1685 1690 1695
- Gln Ser Gln Ala Glu Asn Leu Leu Cys Arg Thr Tyr Gln Lys Trp 1700 1705 1710
- Lys Asn Lys Ser Leu Ser Pro Gly Gln Glu Leu Gly Pro Ser Val 1715 1720 1725
- Ala Glu Ile Pro Trp Asp Asp Ile Ile Thr Leu Cys Ile Asn His 1730 1735 1740
- Lys Leu Arg Asp Trp Thr Pro Pro Arg Leu Pro Val Thr Leu Glu 1745 1750 1755
- Ala Leu Ser Glu Asp Gly Gln Ile Cys Val Tyr Phe Phe Lys Asn 1760 1765 1770
- Leu Leu Arg Lys Tyr His Val Pro Ser Ser Trp Glu Gln Ala Arg 1775 1780 1785
- Met Gln Thr Gln Arg Glu Leu Gln Leu Ser His Gly Arg Ser Gly 1790 1795 1800

Met Arg Ser Ile His Pro Pro Thr Ser Thr Phe Pro Thr Pro Leu 1805 1810 1815

- Leu His Val His Gln Lys Gly Lys Lys Glu Glu Ser Gly Arg 1820 1825 1830
- Glu Gly Ser Leu Ser Thr Glu Asp Leu Leu Arg Gly Ala Ser Ala 1835 1840 1845
- Glu Glu Leu Leu Ala Gln Ser Leu Ser Ser Ser Leu Leu Glu Glu 1850 1855 1860
- Lys Glu Glu Asn Lys Arg Phe Glu Asp Gln Leu Gln Gln Trp Leu 1865 1870 1875
- Ser Gln Asp Ser Gln Ala Phe Thr Glu Ser Thr Arg Leu Pro Leu 1880 1885 1890
- Tyr Leu Pro Gln Thr Leu Val Ser Phe Pro Asp Ser Ile Lys Thr 1895 1900 1905
- Gln Thr Met Val Lys Thr Ser Thr Ser Pro Gln Asn Ser Gly Thr 1910 1915 1920
- Gly Lys Gln Leu Arg Phe Ser Glu Ala Ser Gly Ser Ser Leu Thr 1925 1930 1935
- Glu Lys Leu Lys Leu Glu Arg Leu Ile Gln Ser Ser Arg Ala 1940 1945 1950

Glu Glu Ala Ala Ser Glu Leu His Leu Ser Ala Leu Leu Glu Met 1955 1960 1965

Val Asp Met 1970

<210> 3
<211> 6114
<212> DNA
<213> Homo sapiens

<220>
<221> CDS
<222> (38).. (5977)

55

ttc agt ggg cag cag cct agt gct ttt tcg gcg tct tct agt aat gta

Phe Ser Gly Gln Gln Pro Ser Ala Phe Ser Ala Ser Ser Ser Asn Val

10 15 20

gga aca ctt cca tct aag ccg cca ttt cga ttt ggt caa cct tct ctt

Gly Thr Leu Pro Ser Lys Pro Pro Phe Arg Phe Gly Gln Pro Ser Leu

25 30 35

ttt gga caa aac agt acc tta tct ggg aag agc tcg gga ttt tca cag

Phe Gly Gln Asn Ser Thr Leu Ser Gly Lys Ser Ser Gly Phe Ser Gln

40

45

50

gta tcc agc ttt cca gcg tct tct gga gta agt cat tcc tct tca gtg 247

29/64

	wo a	2005/0	58963	3											PCT/JP20	04/00304
Val 55	Ser	Ser	Phe	Pro	Ala 60	Ser	Ser	Gly	Val	Ser 65	His	Ser	Ser	Ser	Val 70	
					acc Thr											295
					acc Thr											343
	_	_			aca Thr											391
	-				act Thr											439
_					ggg Gly 140											487
	_				cca Pro		_									535
		-			gc t Ala											583
_	_	-			ggc Gly	_										631
					ac t Thr											679

PCT/JP2004/003046

						gcc Ala		_	_			_				727
						gga Gly										775
						cct Pro										823
						ggt Gly										871
						ccc Pro 285										919
						cca Pro										967
						cgg Arg										1015
						cgg Arg										1063
						aat Asn										1111
gag	gcc	aaa	aag	gaa	act	ggc	ttt	gtt	gag	tct	gca	gaa	agt	gac	cac	1159

Glu	360	s Lys	s Glu	Thi	Gly 365	· Va	l Glu	ı Ser	370		ı Sei	r Asp	His	
	Ala				Asn				Ala				att Ile 390	1207
				Glu				Ser					gaa Glu	1255
			Gly				cag Gln					Glu		1303
		Leu					tct				Ala		cag Gln	1351
							gac Asp			Ile				1399
							cgc Arg							1447
							gat Asp 480							1495
							aaa Lys							1543
					Pro		aaa Lys							1591

					ggt Gly							Glu				1639
					ctt Leu 540						Arg					1687
					agc Ser											1735
					gga Gly											1783
					tgt Cys											1831
					aag Lys											1879
					gct Ala 620											1927
					acc Thr									-		1975
_					cgt Arg								_	-		2023
ggg	act	gac	cag	gtg	gac	cac	gca	gca	gct	gtg	aaa	gag	tac	agt	cgg	2071

Gly	Thr	Asp 665	Gln	Val	Asp	His	Ala 670	Ala	Ala	Val	Lys	Glu 675	Туг	Ser	Arg	
						gag Glu 685						_				2119
						atg Met										2167
						cgg Arg										2215
						gat Asp									_	2263
						gag Glu										2311
						gag Glu 765										2359
						aag Lys							4		<u>_</u>	2407
						gg t Gly										2455
_						ctc Leu										2503

	_					cct Pro			_				_			2551
						gct Ala 845		_					_ > <			2599
						tca Ser				_						2647
						atc Ile										2695
						aca Thr		_						_	_	2743
						ctg Leu										2791
_						ctc Leu 925										2839
						gaa Glu										2887
						aag Lys										2935
aac	gga	ggg	cca	ttg	ccc	ccc	gtc	cct	cgt	cac	acc	cct	gţg	tgc	agc	2983

35/64

Asn	Gly	Gly	Pro 970	Leu	Pro	Pro N		ro A 75	rg H	lis T	hr Pr	o Va 98	s Ser	
	Asn		4			Tyr]					tg gc eu Al 99	a Al	g ctg u Leu	3031
		Ser					Gly				gtg Val 1010			3076
		Glu					Glu				ccc Pro 1025	_	_	3121
	cca Pro 1030	Gln	_		_		Pro				cca Pro 1040			3166
		Val					Pro				ccc Pro 1055			3211
		Ser					Pro				gag Glu 1070			3256
							Ala				gac Asp 1085			3301
							Cys				ggc Gly 1100			3346
							Leu				aat Asn 1115			3391

						gca Ala 1125									3436
						aag Lys 1140									3481
						gaa Glu 1155									3526
	tta Leu 1165					cag Gln 1170									3571
						gtg Val 1185									36 16
						gac Asp 1200									3661
						cac His 1215									3706
						aag Lys 1230									3751
						cgg Arg 1245									3796
aag	aaa	ctg	agg	cgc	caa	atg	cgg	gct	ttc	cct	gc t	gcg	ccc	tgc	3841

	WO 20	05/05	8963											PCT/JP200	04/003046
Lys	Lys 1255	Leu	Arg	Arg	Gln	Me t 1260	Arg	Ala	Phe	Pro	Ala 1265	Ala	Pro	Cys	
tgc	gtg	gac	gtg	agc	gac	cgg	ctg	agg	gcg	ctg	gcg	ccc	agc	gca	3886
Cys	Val	Asp	Val	Ser	Asp	Arg	Leu	Arg	Ala	Leu	Ala	Pro	Ser	Ala	
	1270					1275					1280				
gag	tgc	ccc	att	gct	gaa	gag	aac	ctg	gcc	agg	ggc	ctc	ctg	gac	3931
_	Cys														
	1285					1290					1295				
						0									0070
	ggc														3976
Leu	Gly 1300	HIS	BIA	GIY	Arg	1305	GIY	116	261	Cys	1310	Arg	Leu	Arg	
	1000					1000					1010				
cgg	ctc	aga	aac	aag	aca	gct	cac	cag	atg	aag	gtt	cag	cac	ttc	4021
Arg	Leu	Arg	Asn	Lys	Thr	Ala	His	Gln	Met	Lys	Val	Gln	His	Phe	
	1315					1320					1325				
tac	cag	റമെ	cta	cto	a or t	o a t	ort or	gr a	too	geg	tet	cto	gar	ctø	4066
	Gln														1000
.,.	1330	· · · ·	200	200		1335					1340				
	tcc														4111
Pro	Ser	Leu	Val	Ala	Glu		Leu	Pro	Gly	Arg		Glu	His	Val	
	1345					1350					1355				
ttt	tgg	aag	ctg	gtg	ctg	gtg	ttg	ccg	gat	gta	gag	gag	cag	tcc	4156
Phe	Trp	Lys	Leu	Val	Leu	Val	Leu	Pro	Asp	Val	Glu	Glu	Gln	Ser	
	1360					1365					1370				
	~~~	0 m t	+ ~ +	~~~	2.50		0 + 0	<b>~</b> ~ ~	0 0 t	taa	++0	0.00	a t a	0.0.5	4901
	gag Glu														4201
110	1375	501	~ <b>,</b> 0	<b></b>	*** 0	1380	20 u	11 1 U			1385	ں ر یہ	, 44.3	U	
	•														
ttc	atg	gga	gat	gaa	ggc	tca	gtg	gat	gac	aca	tcc	agc	gat	gct	4246
Phe	Met	Gly	Asp	Glu	Gly	Ser	Val	Asp	Asp	Thr		Ser	Asp	Ala	
	1390					1395					1400				

						tcg Ser 1410									4291
						gtt Val 1425									4336
						gcc Ala 1440									4381
Asp			Gly	Ala	Ser	ggg Gly 1455									4426
	aag Lys 1465					gca Ala 1470									4471
						cag Gln 1485									4516
						gtt Val 1500									4561
						gaa Glu 1515									4606
_						tca Ser 1530									4651
gat	acc	att	aat	gat	cta	caa	ggt	tca	act	aag	gtt	ttg	caa	gca	4696

Asp	Thr 1540	Ile	Asn	Asp	Leu	Gln 1545	Gly	Ser	Thr	Lys	Val 1550	Leu	Gln	Ala	
			_			cac His 1560								_	4741
						tac Tyr 1575									4786
						cat His 1590									4831
						cct Pro 1605									4876
						gct Ala 1620									4921
_			_			gtc Val 1635									4966
_	\	_		<u>_</u>		ctg Leu 1650						gag Glu			5011
						gtg Val 1665				_		_	_		5056
						gcc Ala 1680									5101

		Gln				cag Gln 1695	Ile					Gln			5146
	gtc Val 1705	Leu					G1 u								5191
	agg Arg 1720	Trp				agt Ser 1725	Pro								5236
_	tcg Ser 1735					cca Pro 1740	Trp								5281
	aac Asn 1750														5326
	tca Ser 1765														5371
	aaa Lys 1780														5416
	gcc Ala 1795														5461
	ttg Leu 1810														5506
ata	cca	ttg	ctt	cac	atg	cac	cgt	aac	tgg	aag	agg	agc	aca	gag	5551

Ile	Pro 1825	Leu	Leu	His	Met	His 1830	Arg	Asn	Trp	Lys	Arg 1835	Ser	Thr	Glu	
	gct Ala 1840					att Ile 1845							_		5596
	gct Ala 1855														5641
	ctg Leu 1870												\		5686
	caa Gln 1885					gac Asp 1890									5731
	ctt Leu 1900														5776
	att Ile 1915				_				_			_			5821
	gac Asp 1930														5866
	tgt Cys 1945		- •	_	_				_					<b>-</b> -	5911
	tca Ser 1960					_			_						5956

ctg cta gac atg gtg gac att tgagcagcct gacctgtggg gagggggtct 6007 Leu Leu Asp Met Val Asp Ile 1975 1980

ctcccgaaga gtttctgttt ttactcaaaa taatgttatt ctcagatgct tgatgcactg 6067

ttggaaatgt gattaattta atcatgcaga taaaccattt aaatgtc 6114

<210> 4

<211> 1980

<212> PRT

<213> Homo sapiens

<400> 4

Met Asn Pro Thr Asn Pro Phe Ser Gly Gln Gln Pro Ser Ala Phe Ser 1 5 10 15

Ala Ser Ser Ser Asn Val Gly Thr Leu Pro Ser Lys Pro Pro Phe Arg 20 25 30

Phe Gly Gln Pro Ser Leu Phe Gly Gln Asn Ser Thr Leu Ser Gly Lys
35 40 45

Ser Ser Gly Phe Ser Gln Val Ser Ser Phe Pro Ala Ser Ser Gly Val 50 55 60

Ser His Ser Ser Ser Val Gln Thr Leu Gly Phe Thr Gln Thr Ser Ser 65 70 75 80

Val Gly Pro Phe Ser Gly Leu Glu His Thr Ser Thr Phe Val Ala Thr

85 90 95

Ser Gly Pro Ser Ser Ser Ser Val Leu Gly Asn Thr Gly Phe Ser Phe 100 105 110

Lys Ser Pro Thr Ser Val Gly Ala Phe Pro Ser Thr Ser Ala Phe Gly 115 120 125

Gln Glu Ala Gly Glu Ile Val Asn Ser Gly Phe Gly Lys Thr Glu Phe 130 135 140

Ser Phe Lys Pro Leu Glu Asn Ala Val Phe Lys Pro Ile Leu Gly Ala 145

Glu Ser Glu Pro Glu Lys Thr Gln Ser Gln Ile Ala Ser Gly Phe Phe 165 170 175

Thr Phe Ser His Pro Ile Ser Ser Ala Pro Gly Gly Leu Ala Pro Phe 180 185 190

Ser Phe Pro Gln Val Thr Ser Ser Ser Ala Thr Thr Ser Asn Phe Thr 195 200 205

Phe Ser Lys Pro Val Ser Ser Asn Asn Ser Leu Ser Ala Phe Thr Pro 210 215 220

Ala Leu Ser Asn Gln Asn Val Glu Glu Glu Lys Arg Gly Pro Lys Ser 225 230 235 240

Ile	Phe	Gly	Ser	Ser	Asn	Asn	Ser	Phe	Ser	Ser	Phe	Pro	Val	Ser	Ser
	245						250					255			

- Ala Val Leu Gly Glu Pro Phe Gln Ala Ser Lys Ala Gly Val Arg Gln 260 265 270
- Gly Cys Glu Glu Ala Val Ser Gln Val Glu Pro Leu Pro Ser Leu Met 275 280 285
- Lys Gly Leu Lys Arg Lys Glu Asp Gln Asp Arg Ser Pro Arg Arg His 290 295 300
- Gly His Glu Pro Ala Glu Asp Ser Asp Pro Leu Ser Arg Gly Asp His 305 310 310 315
- Pro Pro Asp Lys Arg Pro Val Arg Leu Asn Arg Pro Arg Gly Gly Thr 325 330 335
- Leu Phe Gly Arg Thr Ile Gln Asp Val Phe Lys Ser Asn Lys Glu Val
  340 345 350
- Gly Arg Leu Gly Asn Lys Glu Ala Lys Lys Glu Thr Gly Phe Val Glu 355 360 365
- Ser Ala Glu Ser Asp His Met Ala Ile Pro Gly Gly Asn Gln Ser Val 370 375 380
- Leu Ala Pro Ser Arg Ile Pro Gly Val Asn Lys Glu Glu Glu Thr Glu

Ser Arg Glu Lys Lys Glu Asp Ser Leu Arg Gly Thr Pro Ala Arg Gln
405 410 415

Ser Asn Arg Ser Glu Ser Thr Asp Ser Leu Gly Gly Leu Ser Pro Ser 420 430

Glu Val Thr Ala Ile Gln Cys Lys Asn Ile Pro Asp Tyr Leu Asn Asp 435 440 445

Arg Thr Ile Leu Glu Asn His Phe Gly Lys Ile Ala Lys Val Gln Arg 450 455 460

Ile Phe Thr Arg Arg Ser Lys Lys Leu Ala Val Val His Phe Phe Asp 465 470 475 480

His Ala Ser Ala Ala Leu Ala Arg Lys Lys Gly Lys Ser Leu His Lys
485
490
495

Asp Met Ala Ile Phe Trp His Arg Lys Lys Ile Ser Pro Asn Lys Lys 500 510

Pro Phe Ser Leu Lys Glu Lys Lys Pro Gly Asp Gly Glu Val Ser Pro 515 520 525

Ser Thr Glu Asp Ala Pro Phe Gln His Ser Pro Leu Gly Lys Ala Ala 530 535 . 540

Gly Arg Thr Gly Ala Ser Ser Leu Leu Asn Lys Ser Ser Pro Val Lys 545 550 560

Lys Pro Ser Leu Leu Lys Ala His Gln Phe Glu Gly Asp Ser Phe Asp 565 575

Ser Ala Ser Glu Gly Ser Glu Gly Leu Gly Pro Cys Val Leu Ser Leu 580 585 590

Ser Thr Leu Ile Gly Thr Val Ala Glu Thr Ser Lys Glu Lys Tyr Arg 595 600 605

Leu Leu Asp Gln Arg Asp Arg Ile Met Arg Gln Ala Arg Val Lys Arg 610 620

Thr Asp Leu Asp Lys Ala Arg Thr Phe Val Gly Thr Cys Leu Asp Met 625 630 635 635

Cys Pro Glu Lys Glu Arg Tyr Met Arg Glu Thr Arg Ser Gln Leu Ser 645 650 655

Val Phe Glu Val Val Pro Gly Thr Asp Gln Val Asp His Ala Ala Ala 660 670

Val Lys Glu Tyr Ser Arg Ser Ser Ala Asp Gln Glu Glu Pro Leu Pro 675 680 685

His Glu Leu Arg Pro Leu Pro Val Leu Ser Arg Thr Met Asp Tyr Leu

690 695 700

Val Thr Gln Ile Met Asp Gln Lys Glu Gly Ser Leu Arg Asp Trp Tyr 705 710 715 720

Asp Phe Val Trp Asn Arg Thr Arg Gly Ile Arg Lys Asp Ile Thr Gln 725 730 735

Gln His Leu Cys Asp Pro Leu Thr Val Ser Leu Ile Glu Lys Cys Thr 740 745 750

Arg Phe His Ile His Cys Ala His Phe Met Cys Glu Glu Pro Met Ser 755 760 765

Ser Phe Asp Ala Lys Ile Asn Asn Glu Asn Met Thr Lys Cys Leu Gln 770 780

Ser Leu Lys Glu Met Tyr Gln Asp Leu Arg Asn Lys Gly Val Phe Cys 785 790 795 800

Ala Ser Glu Ala Glu Phe Gln Gly Tyr Asn Val Leu Leu Ser Leu Asn 805 810

Lys Gly Asp Ile Leu Arg Glu Val Gln Gln Phe His Pro Ala Val Arg 820 825 830

Asn Ser Ser Glu Val Lys Phe Ala Val Gln Ala Phe Ala Ala Leu Asn 835 840 845 Ser Asn Asn Phe Val Arg Phe Phe Lys Leu Val Gln Ser Ala Ser Tyr 850 855 860

Leu Asn Ala Cys Leu Leu His Cys Tyr Phe Ser Gln Ile Arg Lys Asp 865 870 875 880

Ala Leu Arg Ala Leu Asn Phe Ala Tyr Thr Val Ser Thr Gln Arg Ser 885 890 895

Thr IIe Phe Pro Leu Asp Gly Val Val Arg Met Leu Leu Phe Arg Asp 900 905 910

Cys Glu Glu Ala Thr Asp Phe Leu Thr Cys His Gly Leu Thr Val Ser 915 920 925

Asp Gly Cys Val Glu Leu Asn Arg Ser Ala Phe Leu Glu Pro Glu Gly 930 935 940

Leu Ser Lys Thr Arg Lys Ser Val Phe Ile Thr Arg Lys Leu Thr Val 945 950 955 960

Ser Val Gly Glu Ile Val Asn Gly Gly Pro Leu Pro Pro Val Pro Arg 965 970 975

His Thr Pro Val Cys Ser Phe Asn Ser Gln Asn Lys Tyr Ile Gly Glu 980 985 990

Ser Leu Ala Ala Glu Leu Pro Val Ser Thr Gln Arg Pro Gly Ser Asp 49/64

995 1000 1005

Thr Val Gly Gly Arg Gly Glu Glu Cys Gly Val Glu Pro Asp 1010 1015 1020

- Ala Pro Leu Ser Ser Leu Pro Gln Ser Leu Pro Ala Pro Ala Pro 1025 1030 1035
- Ser Pro Val Pro Leu Pro Pro Val Leu Ala Leu Thr Pro Ser Val 1040 1045 1050
- Ala Pro Ser Leu Phe Gln Leu Ser Val Gln Pro Glu Pro Pro Pro 1055 1060 1065
- Pro Glu Pro Val Pro Met Tyr Ser Asp Glu Asp Leu Ala Gln Val 1070 1080
- Val Asp Glu Leu Ile Gln Glu Ala Leu Gln Arg Asp Cys Glu Glu 1085 1090 1095
- Val Gly Ser Ala Gly Ala Ala Tyr Ala Ala Ala Ala Leu Gly Val 1100 1105 1110
- Ser Asn Ala Ala Met Glu Asp Leu Leu Thr Ala Ala Thr Thr Gly 1115 1120 1125
- Ile Leu Arg His Ile Ala Ala Glu Glu Val Ser Lys Glu Arg Glu
  1130 1140

1

Arg Arg Glu Gln Glu Arg Gln Arg Ala Glu Glu Glu Arg Leu Lys 1145 1150 1155

- Gln Glu Arg Glu Leu Val Leu Ser Glu Leu Ser Gln Gly Leu Ala 1160 1165 1170
- Val Glu Leu Met Glu Arg Val Met Met Glu Phe Val Arg Glu Thr 1175 1180 1185
- Cys Ser Gln Glu Leu Lys Asn Ala Val Glu Thr Asp Gln Arg Val 1190 1195 1200
- Arg Val Ala Arg Cys Cys Glu Asp Val Cys Ala His Leu Val Asp 1205 1210 1215
- Leu Phe Leu Val Glu Glu Ile Phe Gln Thr Ala Lys Glu Thr Leu 1220 1235 1230
- Gln Glu Leu Gln Cys Phe Cys Lys Tyr Leu Gln Arg Trp Arg Glu 1235 1240 1245
- Ala Val Thr Ala Arg Lys Lys Leu Arg Arg Gln Met Arg Ala Phe 1250 1255 1260
- Pro Ala Ala Pro Cys Cys Val Asp Val Ser Asp Arg Leu Arg Ala 1265 1270 1275
- Leu Ala Pro Ser Ala Glu Cys Pro Ile Ala Glu Glu Asn Leu Ala 51/64

1280 1285 1290

Arg Gly Leu Leu Asp Leu Gly His Ala Gly Arg Leu Gly Ile Ser 1295 1300 1305

- Cys Thr Arg Leu Arg Arg Leu Arg Asn Lys Thr Ala His Gln Met 1310 1315 1320
- Lys Val Gln His Phe Tyr Gln Gln Leu Leu Ser Asp Val Ala Trp 1325 1330 1335
- Ala Ser Leu Asp Leu Pro Ser Leu Val Ala Glu His Leu Pro Gly 1340 1345 1350
- Arg Gln Glu His Val Phe Trp Lys Leu Val Leu Val Leu Pro Asp 1355 1360 1365
- Val Glu Glu Gln Ser Pro Glu Ser Cys Gly Arg Ile Leu Ala Asn 1370 1375 1380
- Trp Leu Lys Val Lys Phe Met Gly Asp Glu Gly Ser Val Asp Asp 1385 1390 1395
- Thr Ser Ser Asp Ala Gly Gly Ile Gln Thr Leu Ser Leu Phe Asn 1400 1405
- Ser Leu Ser Ser Lys Gly Asp Gln Met IIe Ser Val Asn Val Cys 1415 1420 1425

Ile Lys Val Ala His Gly Ala Leu Ser Asp Gly Ala Ile Asp Ala 1430 1435 1440

- Val Glu Thr Gln Lys Asp Leu Leu Gly Ala Ser Gly Leu Met Leu 1445 1450 1455
- Leu Leu Pro Pro Lys Met Lys Ser Glu Asp Met Ala Glu Glu Asp 1460 1465 1470
- Val Tyr Trp Leu Ser Ala Leu Leu Gln Leu Lys Gln Leu Leu Gln 1475 1480 1485
- Ala Lys Pro Phe Gin Pro Ala Leu Pro Leu Val Val Leu Val Pro 1490 1495 1500
- Ser Pro Gly Gly Asp Ala Val Glu Lys Glu Val Glu Asp Gly Leu 1505 1510 1515
- Met Leu Gln Asp Leu Val Ser Ala Lys Leu Ile Ser Asp Tyr Thr 1520 1530
- Val Thr Glu Ile Pro Asp Thr Ile Asn Asp Leu Gln Gly Ser Thr 1535 1540 1545
- Lys Val Leu Gln Ala Val Gln Trp Leu Val Ser His Cys Pro His 1550 1560
- Ser Leu Asp Leu Cys Cys Gln Thr Leu Ile Gln Tyr Val Glu Asp

1565 1570 1575

Gly Ile Gly His Glu Phe Ser Gly Arg Phe Phe His Asp Arg Arg 1580 1585 1590

- Glu Arg Arg Leu Gly Gly Leu Ala Ser Gln Glu Pro Gly Ala Ile 1595 1600 1605
- Ile Glu Leu Phe Asn Ser Val Leu Gln Phe Leu Ala Ser Val Val 1610 1620
- Ser Ser Glu Gln Leu Cys Asp Leu Ser Trp Pro Val Thr Glu Phe 1625 1630 1635
- Ala Glu Ala Gly Gly Ser Arg Leu Leu Pro His Leu His Trp Asn 1640 1645 1650
- Ala Pro Glu His Leu Ala Trp Leu Lys Gln Ala Val Leu Gly Phe 1655 1660 1665
- Gln Leu Pro Gln Met Asp Leu Pro Pro Leu Gly Ala Pro Trp Leu 1670 1675 1680
- Pro Val Cys Ser Met Val Val Gln Tyr Ala Ser Gln Ile Pro Ser 1685 1690 1695
- Ser Arg Gln Thr Gln Pro Val Leu Gln Ser Gln Val Glu Asn Leu 1700 1705 1710

Leu His Arg Thr Tyr Cys Arg Trp Lys Ser Lys Ser Pro Ser Pro 1715 1720 1725

- Val His Gly Ala Gly Pro Ser Val Met Glu Ile Pro Trp Asp Asp 1730 1740
- Leu Ile Ala Leu Cys Ile Asn His Lys Leu Arg Asp Trp Thr Pro-1745 1750 1755
- Pro Arg Leu Pro Val Thr Ser Glu Ala Leu Ser Glu Asp Gly Gln 1760 1765 1770
- Ile Cys Val Tyr Phe Phe Lys Asn Asp Leu Lys Lys Tyr Asp Val 1775 1780 1785
- Pro Leu Ser Trp Glu Gln Ala Arg Leu Gln Thr Gln Lys Glu Leu 1790 1800
- Gln Leu Arg Glu Gly Arg Leu Ala Ile Lys Pro Phe His Pro Ser 1805 1810 1815
- Ala Asn Asn Phe Pro IIe Pro Leu Leu His Met His Arg Asn Trp 1820 1825 1830
- Lys Arg Ser Thr Glu Cys Ala Gln Glu Gly Arg Ile Pro Ser Thr 1835 1840 1845
- Glu Asp Leu Met Arg Gly Ala Ser Ala Glu Glu Leu Leu Ala Gln 55/64

1850 1855 1860

Cys Leu Ser Ser Leu Leu Leu Glu Lys Glu Glu Asn Lys Arg 1865 1870 1875

Phe Glu Asp Gln Leu Gln Gln Trp Leu Ser Glu Asp Ser Gly Ala 1880 1885 1890

Phe Thr Asp Leu Thr Ser Leu Pro Leu Tyr Leu Pro Gln Thr Leu 1895 1900

Val Ser Leu Ser His Thr Ile Glu Pro Val Met Lys Thr Ser Val 1910 1915 1920

Thr Thr Ser Pro Gln Ser Asp Met Met Arg Glu Gln Leu Gln Leu 1925 1930 1935

Ser Glu Ala Thr Gly Thr Cys Leu Gly Glu Arg Leu Lys His Leu 1940 1950

Glu Arg Leu Ile Arg Ser Ser Arg Glu Glu Glu Val Ala Ser Glu 1955 1960 1965

Leu His Leu Ser Ala Leu Leu Asp Met Val Asp Ile 1970 1975 1980

<210> 5
<211> 863
<212> PRT

<213> retroviral provirus

<400> 5

Lys Glu Gln Lys Thr Val Ala Met Arg Val Lys Glu Lys Tyr Gln His 1 5 10 15

Leu Trp Arg Trp Gly Trp Arg Trp Gly Thr Met Leu Gly Met Leu 20 25 30

Met Ile Cys Ser Ala Thr Glu Lys Leu Trp Val Thr Val Tyr Tyr Gly 35 40 45

Val Pro Val Trp Lys Glu Ala Thr Thr Thr Leu Phe Cys Ala Ser Asp 50 55 60

Ala Lys Ala Tyr Asp Thr Glu Val His Asn Val Trp Ala Thr His Ala 65 70 75 80

Cys Val Pro Thr Asp Pro Asn Pro Gln Glu Val Val Leu Val Asn Val 85 90 95

Thr Glu Asn Phe Asn Met Trp Lys Asn Asp Met Val Glu Gln Met His
100 105 110

Glu Asp Ile Ile Ser Leu Trp Asp Gln Ser Leu Lys Pro Cys Val Lys
115 120 125

Leu Thr Pro Leu Cys Val Ser Leu Lys Cys Thr Asp Leu Lys Asn Asp 130 135 140

Thr	Asn	Thr	Asn	Ser	Ser	Ser	Gly	Arg	Met	Ile	Met	Glu	Lys	Gly	Glu
145					150					155					160

- Ile Lys Asn Cys Ser Phe Asn Ile Ser Thr Ser Ile Arg Gly Lys Val 165 170 175
- Gln Lys Glu Tyr Ala Phe Phe Tyr Lys Leu Asp Ile Ile Pro Ile Asp 180 185 190
- Asn Asp Thr Thr Ser Tyr Thr Leu Thr Ser Cys Asn Thr Ser Val Ile 195 200 205
- Thr Gln Ala Cys Pro Lys Val Ser Phe Glu Pro Ile Pro Ile His Tyr 210 215 220
- Cys Ala Pro Ala Gly Phe Ala Ile Leu Lys Cys Asn Asn Lys Thr Phe 225 230 235 240
- Asn Gly Thr Gly Pro Cys Thr Asn Val Ser Thr Val Gln Cys Thr His 245 250 255
- Gly Ile Arg Pro Val Val Ser Thr Gln Leu Leu Leu Asn Gly Ser Leu 260 265 270
- Ala Glu Glu Val Val IIe Arg Ser Ala Asn Phe Thr Asp Asn Ala 275 280 285

Lys Thr Ile Ile Val Gln Leu Asn Gln Ser Val Glu Ile Asn Cys Thr 290 295 300

Arg Pro Asn Asn Asn Thr Arg Lys Ser IIe Arg IIe Gln Arg Gly Pro 305 310 310 315

Gly Arg Ala Phe Val Thr Ile Gly Lys Ile Gly Asn Met Arg Gln Ala 325 330 335

His Cys Asn Ile Ser Arg Ala Lys Trp Asn Asn Thr Leu Lys Gln Ile 340 345 350

Asp Ser Lys Leu Arg Glu Gln Phe Gly Asn Asn Lys Thr Ile Ile Phe 355 360 365

Lys Gln Ser Ser Gly Gly Asp Pro Glu Ile Val Thr His Ser Phe Asn 370 375 380

Cys Gly Gly Glu Phe Phe Tyr Cys Asn Ser Thr Gln Leu Phe Asn Ser 385

Thr Trp Phe Asn Ser Thr Trp Ser Thr Lys Gly Ser Asn Asn Thr Glu
405 410 415

Gly Ser Asp Thr Ile Thr Leu Pro Cys Arg Ile Lys Gln Ile Ile Asn 420 425 430

Met Trp Gln Glu Val Gly Lys Ala Met Tyr Ala Pro Pro Ile Ser Gly
435 440 445

Gln	Ile	Arg	Cys	Ser	Ser	Asn	Ile	Thr	Gly	Leu	Leu	Leu	Thr	Arg	Asp
	450					455					460				

- Gly Gly Asn Ser Asn Asn Glu Ser Glu Ile Phe Arg Pro Gly Gly 480
- Asp Met Arg Asp Asn Trp Arg Ser Glu Leu Tyr Lys Tyr Lys Val Val
  485 490 495
- Lys Ile Glu Pro Leu Gly Val Ala Pro Thr Lys Ala Lys Arg Arg Val 500 505 510
- Val Gln Arg Glu Lys Arg Ala Val Gly Ile Gly Ala Leu Phe Leu Gly 515 520 525
- Phe Leu Gly Ala Ala Gly Ser Thr Met Gly Ala Ala Ser Met Thr Leu 530 535 540
- Thr Val Gln Ala Arg Gln Leu Leu Ser Gly Ile Val Gln Gln Gln Asn 545 550 550 560
- Asn Leu Leu Arg Ala Ile Glu Ala Gln Gln His Leu Leu Gln Leu Thr 565 570 575
- Val Trp Gly Ile Lys Gln Leu Gln Ala Arg Ile Leu Ala Val Glu Arg 580 585 590

60/64

Tyr Leu Lys Asp Gln Gln Leu Leu Gly Ile Trp Gly Cys Ser Gly Lys 595 600 605

Leu Ile Cys Thr Thr Ala Val Pro Trp Asn Ala Ser Trp Ser Asn Lys 610 620

Ser Leu Glu Gln Ile Trp Asn Asn Met Thr Trp Met Glu Trp Asp Arg 625 630 635 640

Glu Ile Asn Asn Tyr Thr Ser Leu Ile His Ser Leu Ile Glu Glu Ser 645 650 655

Gln Asn Gln Glu Lys Asn Glu Gln Glu Leu Leu Glu Leu Asp Lys 660 665 670

Trp Ala Ser Leu Trp Asn Trp Phe Asn Ile Thr Asn Trp Leu Trp Tyr 675 680 685

Ile Lys Leu Phe Ile Met Ile Val Gly Gly Leu Val Gly Leu Arg Ile 690 695 700

Val Phe Ala Val Leu Ser Val Val Asn Arg Val Arg Gln Gly Tyr Ser 705 710 715 720

Pro Leu Ser Phe Gln Thr His Leu Pro Ile Pro Arg Gly Pro Asp Arg 725 730 735

Pro Glu Gly Ile Glu Glu Glu Gly Glu Arg Asp Arg Asp Arg Ser 740 745 750 Ile Arg Leu Val Asn Gly Ser Leu Ala Leu Ile Trp Asp Asp Leu Arg 755 760 765

Ser Leu Cys Leu Phe Ser Tyr His Arg Leu Arg Asp Leu Leu Leu Ile 770 780

Val Thr Arg Ile Val Glu Leu Leu Gly Arg Arg Gly Trp Glu Ala Leu 785 790 795 800

Lys Tyr Trp Trp Asn Leu Leu Gln Tyr Trp Ser Gln Glu Leu Lys Asn 805 810

Ser Ala Val Ser Leu Leu Asn Ala Thr Ala Ile Ala Val Ala Glu Gly 820 825 830

Thr Asp Arg Val Ile Glu Val Val Gln Gly Ala Tyr Arg Ala Ile Arg 835 840 845

His Ile Pro Arg Arg Ile Arg Gln Gly Leu Glu Arg Ile Leu Leu 850 855 860

<210> 6

<211> 23

<212> PRT

<213> retroviral provirus

<400> 6

Asn Asn Thr Arg Lys Ser Ile Arg Ile Gln Arg Gly Pro Gly Arg Ala

1 5 10 15

Phe Val Thr Ile Gly Lys Ile 20

<210> 7

<211> 20

<212> DNA

<213> Artificial sequence

<220>

<223> primer

<400> 7

tcccgccttc cagctgtgac 20

<210> 8

<211> 20

<212> DNA

<213> Artificial sequence

<220>

<223> primer

**<400>** 8

gtgctgctgt gttatgtcct 20

<210> 9

<211> 24

<212> PRT

<213> retroviral provirus

<400> 9

Cys Asn Asn Thr Arg Lys Ser Ile Arg Ile Gln Arg Gly Pro Gly Arg 1 5 10 15

Ala Phe Val Thr Ile Gly Lys Ile 20 61/64